

植栽時における在来種選定ガイドライン ～生物多様性に配慮した植栽を目指して～

平成26年5月

東京都環境局

植栽時における在来種選定ガイドライン 目次

本編

| | |
|---------------------|---|
| 1 本ガイドラインの位置付け | 1 |
| 2 本ガイドラインが目指すもの | 2 |
| 3 生物多様性に配慮した植栽植物の分類 | 3 |
| 4 植栽種（在来種）の選び方 | 7 |

参考資料：植物のリスト

| | |
|-------------------------------|----|
| 【リストA】 東京都本土部における植栽のための在来種リスト | 24 |
| 【リストB】 特定外来生物リスト | 41 |
| 【リストC】 要注意外来生物リスト | 43 |

* 本ガイドラインの本文中で「※」が付されている語句は、巻末に説明があります。

1 本ガイドラインの位置付け

- ・人間活動が与える環境負荷によって、地球上では年間約730万ヘクタールの森林が減少し、約4万種の生物が絶滅しているといわれています。東京都においても、緑地は減少傾向にあり、外来種※等が地域の生態系に与える悪影響などの問題が生じています。
- ・東京都はこのような生物多様性※の危機を背景に、生物多様性地域戦略である「緑施策の新展開」を平成24年5月に策定し、緑の「量」を確保する取組に加え、生物多様性の保全など、緑の「質」を高める施策を打ち出しました。
- ・東京都はこれまで民間事業者、NPO、都民の方々の参画と協力を得ながら、海の森や都市公園の整備、街路樹の倍増、校庭芝生化、屋上・壁面緑化など、総合的な都市緑化を積極的に進めてきました。また、民間施設でも開発に付随した緑化が行われています。
- ・しかし、市街地においては、見た目の美しさ、管理のしやすさ、病虫害への強さなどが求められてきたことから、国内外の外来種が緑化に多く利用されてきました。その結果、国内では、これらの種のうち、繁殖力の旺盛な一部の外来種により、既存の在来種※の生育が脅かされる事例や、費用や管理効率を重視しすぎることで、単一樹種の植栽や、高木のみや低木のみの植栽になるなど、植栽が単調になる事例も散見されます。
- ・このような中で、東京都内（以下「都内」という。）ではその土地の在来種を活用した緑化を行うことで、周囲に生息する在来の鳥類や昆虫類を呼び戻す先駆的な取組も見られるようになってきています。例えば、サンショウの木を植えるとアゲハチョウの仲間の幼虫の採食場所が確保でき、ヤブツバキを植えると、そこで吸蜜するメジロを呼び戻すことができるよう、在来種の植栽は在来の動物の生息場所の供給に重要な機能を果たします。周辺地域の自然との連続性に配慮し在来種による緑化を進めることは、多様な動物の生息空間のネットワーク化に貢献し、まとまった緑地の少ない市街地の生物多様性の保全・向上に有効であると考えられます。
- ・また、限られた事業地で、歴史や文化、既存樹木の活用、安全・安心等も考慮しなければならない場合、在来種のみでの植栽は難しい場面がありますが、今後、市街地の緑の「質」を高めるには、人による利用の視点とともに、生きものが利用しやすい自然の植生を参考にした植栽を行うことも新たな緑化の視点として重要であると考えられます。
- ・そこで、本ガイドラインでは、生物多様性の向上を目指し、在来動物に配慮した緑化を行う際の参考となるように、植栽地の環境に適した在来種の構成をもとに植栽する在来種を選び出すことを、1つの手法として示しました。
- ・本ガイドラインが、市街地の緑化に関わる全ての方々に幅広く活用され、都内で在来種の植栽による緑のネットワークの形成が進むことを期待しています。

2 本ガイドラインが目指すもの

東京都は平成 24 年 5 月に策定した「緑施策の新展開」において、緑施策によって目指すべき東京の将来像を示しています。

そのうちの一つである「四季折々の緑が都市に彩りを与え、地域ごとにバランスの取れた生態系を再生し、人と生きものの共生する都市空間を形成している。」という将来像実現には、本ガイドラインを活用し、特に次の 2 点を目指した取組を促進することが必要と考えます。

(1) 生物多様性に配慮した植栽の推進

東京都では、外来生物法[※]で特定外来生物[※]に指定されている、オオキンケイギクやオオハシゴンソウなどの生育が確認されています。これらの植物は、観賞用に植栽されたものが広がり、地域本来の生態系に悪影響を与えるとされています。また、トウネズミモチ（外来生物法による要注意外生物[※]）は、大気汚染に強いため公園や街路樹に植栽されましたが、繁殖力が強く、成長が早いことから、在来種との競合などが問題となっています。

このように、その地域に生育していなかった植物を利用すると、地域固有の生態系に悪影響を与える可能性も十分あることから、地域本来の生物多様性の向上に資するように、地域本来の在来種を用いるよう心がける必要があります。

(2) 在来動物の生息空間のネットワーク化

東京都の用途別みどり率[※]の経年変化を見ると、平成 15 年から平成 20 年までにかけて農用地で 0.5 ポイント、樹林・原野・草地で 1.4 ポイント、みどり率全体で 1.7 ポイント減少しています。都市化の進行によって、緑地が細分化されると、まとまった緑地空間を必要とする哺乳類や鳥類の生息が困難となり、種の多様性は低下します。このことを回避するために、新たに生み出した植栽を活用して細分化された緑地のネットワークを形成し、生物の生息空間を回復することが重要です。

その際、在来種を活用した植栽を行うことで、都内に本来分布している在来の野鳥や昆虫が採食し、その巣や産卵の場所を提供することができます。

3 生物多様性に配慮した植栽植物の分類

生物多様性に配慮した植栽の推進や、在来の動物の生息空間のネットワーク化を図る観点から植栽を行う際には、本ガイドラインでは、在来種の活用を特に推奨します。

その他の場合についても、生態系に与える影響を考慮する際の参考文献として御活用ください。

生物多様性に配慮した在来種植栽を推進する観点から植物を分類すると、表1のように大きく4種類に分けることができます。

表1 生物多様性に配慮した植栽を推進するための植物の分類

| 1 植栽に適した植物 | 2 植栽の目的に応じて利用できる植物 | 3 植栽への利用に注意を要する植物 | 4 植栽に適さない植物 |
|------------|--|--|---|
| 1-1 在来種 | 2-1 栽培品種 (例) ソメイヨシノ、オオムラサキ 2-2 侵略的でない外来種 (国内外来種・国外外来種) (例) ケスノキ、イチョウ、ハナミズキ | 3-1 繁殖力の旺盛な在来種 (例) アズマネザサ 3-2 侵略的とされる外来種 (例) シュロ、モウソウチク | 4-1 特定外来生物 (例) オオキンケイギク、 オオハンゴンソウ 4-2 要注意外来生物 (例) トウネズミモチ、キショウブ |

(1) 植栽に適した植物

生態系に与える悪影響を回避し、生物多様性の回復に貢献する点から、選定することが望ましい植物は、次のような種です。

1-1 在来種

在来種とは、植栽を行う地域において自然分布している種、亜種又はそれ以下の分類群に属する植物をいう。

在来種を植栽すると、次のような利点があります。

- ・自然分布している在来の動物の生息空間を提供することができる。
- ・地域に特有の自然豊かな景観を創出することができる。

※東京都本土部の在来種については、巻末の参考資料に示しました（24 ページから 40 ページまで「リストA」参照）。

(2) 植栽の目的に応じて利用できる植物

次の2-1及び2-2は、本ガイドラインが推奨する植物ではありませんが、植栽する地域の生態系へ悪影響を与えるおそれがないと考えられるため、土地の用途や防災等、植栽の目的等に応じて利用できる植物です。

2-1 栽培品種（園芸品種を含む。）

栽培品種とは、品種改良が行われ、品種名が与えられた植物をいう。場所ごとに応じた景観創出等を目的とした植栽を行う際に利用することができる。

（例）ソメイヨシノ、オオムラサキ、クルメツツジ、ヤエヤマブキ、ワビスケなど

2-2 侵略的でない外来種（国内外来種※又は国外外来種※をいう。以下同じ。）

侵略的でない外来種とは、植栽する地域の生態系へ悪影響を与えるおそれがないと考えられる、国内の東京都以外の地域又は国外において自然分布している種、亜種又はそれ以下の分類群に属する植物をいう。火災の延焼防止、景観創出等を目的とした植栽を行う際に、在来種では目的を達成できないことがあるため、利用することができる植物

（例）クスノキ、イチョウ、ハナミズキ、モミジバフウなど

(3) 植栽への利用に注意を要する植物

本来の自然分布では都内に生育しない植物や、在来種ではあるものの繁茂して生態系へ悪影響を与えるおそれのある植物を利用する場合には、定期的な管理を前提とするなど注意を要します。例えば、種子で広がる植物は種子ができる前に刈り取ったり、茎や根などで広がる植物は定期的に刈り込むなど、その植物が周りに広がらない配慮をすることが望まれます。

3-1 繁殖力の旺盛な在来種

繁殖力の旺盛な在来種とは、東京都の在来種であるが、繁殖力が強く、旺盛に繁茂して単調な植生となり、生態系へ悪影響を与えるおそれがある植物をいう。

（例）アズマネザサなど

3-2 侵略的とされる外来種（国内外来種※・国外外来種※とも）

侵略的とされる外来種とは、本来の自然分布では都内に生育しない国内外来種や、特定外来生物及び要注意外来生物以外の国外外来種で、生態系へ悪影響を与えるおそれがあることが東京都の周辺自治体や学識者等から指摘されている植物をいう。

（例）シユロ、モウソウチク、ピラカンサ類（タチバナモドキ、トキワサンザシ等）、ニワウルシ（シンジュ）等



写真1 シュロ



写真2 モウソウチク

(4) 植栽に適さない植物

次の植物は、生物多様性の保全の視点から、植栽を行わないように注意してください。特に特定外来生物は、地域の生態系に悪影響を与えるものとして、植栽や植物の移動が法律で禁止されています。

4 – 1 特定外来生物

日本の生態系に重大な影響を及ぼすおそれがある植物であり、外来生物法により「特定外来生物」として指定された植物です。特定外来生物に指定されると栽培、保管、運搬、販売、譲渡、輸入、野外に放つことなどは原則として禁止されており、違反すると罰則があります。

特定外来生物については、巻末の参考資料に示しました（41ページ及び42ページ「リストB」参照）。



写真3 オオキンケイギク（特定外来生物）



写真4 オオハンゴンソウ（特定外来生物）

4 – 2 要注意外来生物

外来生物法に基づく規制が課される生物ではありませんが、生態系に悪影響を与える得る種として、適切な取扱いをするように環境省が注意を喚起している植物です。原則的に新たな植栽は行わないことが強く望されます。

要注意外来生物については、巻末の参考資料に示しました（43 ページから 47 ページまで「リスト C」参照）。



写真3 トウネズミモチ（要注意外来生物）



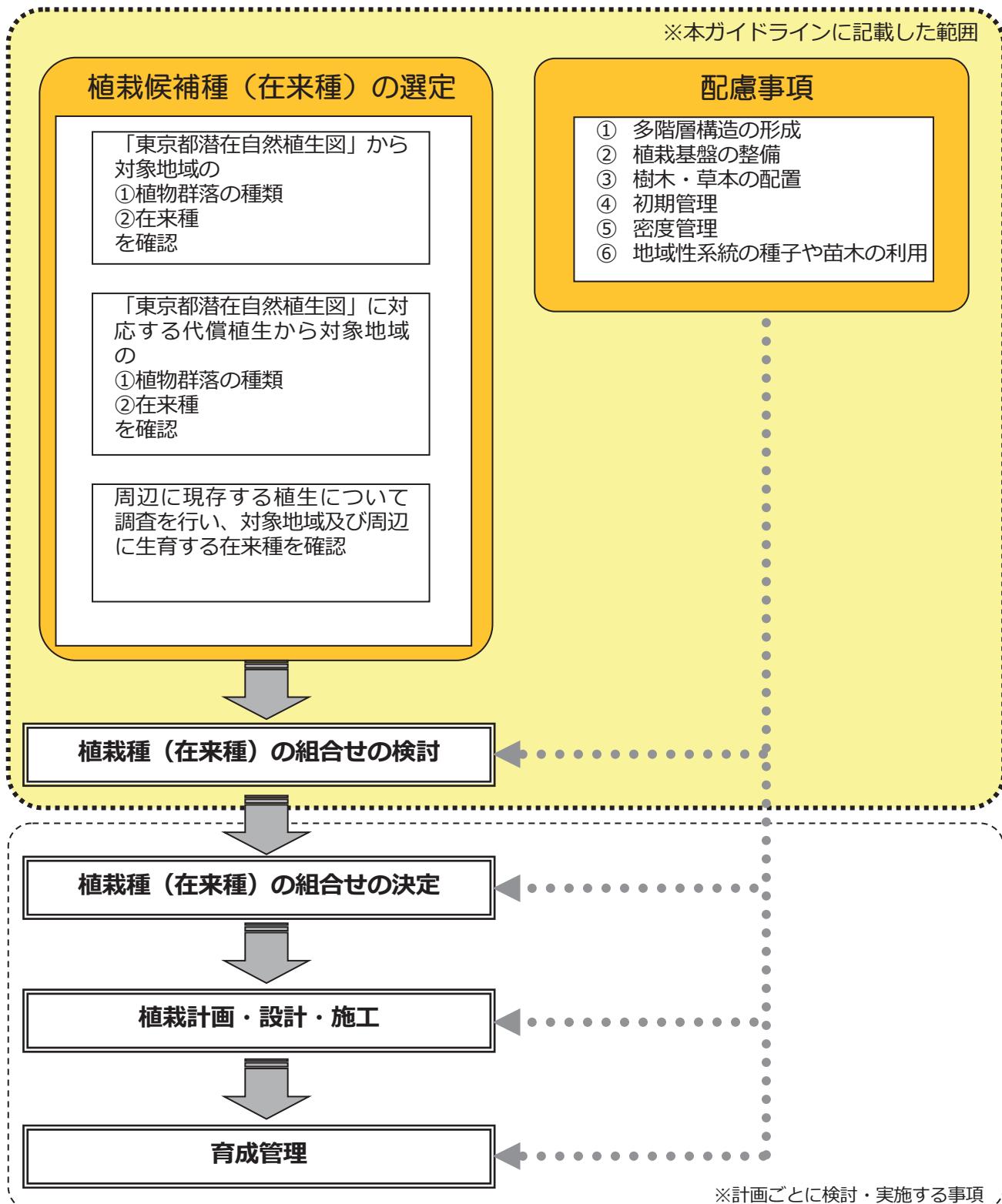
写真4 キショウブ（要注意外来生物）

※なお、環境省が平成 25 年度現在検討中の「侵略的外来種リスト（仮称）」が公表された後は、（3）植栽の使用に注意を要する植物及び（4）植栽に適さない植物は、そちらも参考にしてください。

4 植栽種（在来種）の選び方

在来種による植栽を行う際の種の選び方と配慮事項について、次に示します。

植栽種（在来種）の選び方と配慮事項



(1) 植栽種（在来種）の選定

同じ都内であっても気候、地形、地質等の違いから、場所ごとに成立する植生は異なります。その場所に適した在来種を知るための参考資料として「東京都潜在自然植生※図」(14 ページ参照) があります。東京都潜在自然植生図を参考にすると、その場所に適した「自然植生※」や「代償植生※」を把握することができます。また、実際に現地周辺の自然地※に生育する在来種を参考にすることで、植栽地に適した在来種を選ぶこともできます。

そこで、植栽種を選ぶ際には、次に示す 3 つの方法を組み合わせて、植栽地の目的や環境（日照等）に適した在来種を選ぶようにします。

また、常緑樹又は落葉樹の別、花期や結実期などを調べ、植栽地に適した種をバランスよく選ぶようにします。

(潜在的に成り立ち得る植生を把握)

1-1 自然植生を参考とした植物群落及びその構成種の把握

人為的な影響を受けないで成立する自然植生は、東京都潜在自然植生図及び潜在自然植生配分模式図（15 ページから 21 ページまで）により把握できます。例えば、東京都の大部分の自然植生は、主に常緑広葉樹林に当たります。自然植生の構成種の例は表 3 (12 ページ) に示してありますので、これらの中から植栽候補種を選ぶことができます。

植栽樹木等を選定する際には、潜在自然植生配分模式図等を参考にそれぞれの計画地の微地形等を考慮することが望まれます。

1-2 代償植生を参考とした植物群落及びその構成種の把握

1-1 に加え、雑木林など、本来の植生が人為的な影響を受けて成立する代償植生も、東京都潜在自然植生図等により把握できます。表 3 (12 ページ参照) の下欄は自然植生に対応した代償植生の植物群落を示しており、代償植生の構成種の例は、表 4 (13 ページ参照) に示してあります。これらの中から植栽候補種を選ぶことができます。

都内の自然植生の多くは常緑広葉樹林に当たるため、自然植生のみを参考にすると植栽候補種の多くが常緑樹となり鬱そうとした樹林となる可能性があります。市街地で特に、人の利用も考慮した植栽を行う場合、常緑樹中心の植栽は防犯上、好ましくない等の理由から、代償植生を中心に選ぶことも考えられます。

(実際に現存する植生を把握)

1-3 周辺に現存する植生の現地調査等による把握

植栽種を検討する際に、現地周辺の自然地に生育する在来種を現地調査等により確認します。周辺と同じ在来種を用いると、周囲に生息する在来の動物の移動路を形成したり採食場所を確保したりできるため、地域の生物多様性の向上を促すことができます。また現地調査だけでなく、地域に生育する植物を記した文献等も参考になります。

確認された種が在来種であるかは、巻末のリスト A (24 ページから 40 ページまで) が参考になります。

(2) 配慮事項

植栽する場所の条件によっては困難な場合もありますが、植栽を行うに当たって配慮することが望まれる事項を次に示します。

1-1 多階層構造の形成

多様な動物が生息する緑地の成立を目指す場合には、単層ではなく多階層になるよう、高木種、中木種、低木種及び草本類を組み合わせ、将来的に多階層の樹林が形成されるように配慮します。

樹林内は樹木の葉によって光が遮られるため、地面に近いほど光が少なくなります。このような光条件に対応して、階層構造が形成されます。階層構造が発達して空間構造が複雑になると、例えば、高木層から低木層までを幅広く利用するコゲラ、林冠部を利用するメジロ、草本層を利用するバッタ類など、それぞれの空間特性に合わせて、様々な生物の生息が可能となります。



写真7 階層構造が発達した樹林



図1 階層構造のイメージ

(出典：平成21年3月 環境省 自然環境局 公共施設における緑地等の整備及びその管理、並びに市民参加型自然環境調査手引書)

1－2 植栽基盤の整備

植栽する場所は、造成した場所が多く、表土が乏しいことがほとんどです。植物の生育にとって表土の存在が重要であり、その多くは深くて豊かな表土を必要とする種です。このため、植栽する種に応じて適切な土壤改良や客土などの植栽基盤整備を行うことが重要です。

1－3 樹木・草本の配置

階層構造の発達した樹林を目指すには、植栽した植物が、将来成長した状態を予想し、その植物の高さや規模から適切な配置を検討することが望されます。高木層の樹冠幅と、亜高木層・低木層の重なりを考慮するとともに、高木層に常緑樹を植え過ぎないことや、下層植物の耐陰性に留意した植栽種の組合せを検討することが重要です。

1－4 初期管理

植栽初期は、荒れ地に最初に侵入する外来種、つる植物、タケ・ササ類などが繁茂し、植栽した植物が生育できない場合があります。このような状態にならないように、植栽当初は、定期的な除草、ツル切り、不要な樹種の伐採などの管理を行うことが望られます。

1－5 密度管理

早い段階で緑の量を確保するために、常緑樹又は成長の早い種を多く用いたり、密に植栽したりするなどの対応が行われることがあります。このような場合には、樹木の成長に合わせて、間伐など適切な密度管理を行うことが望されます。

1－6 地域性系統の種子や苗木の利用

在来種のうち、ある地域に生育する植物に特有の遺伝子を共有する集団を地域性系統といいますが、植栽対象地の地域性系統を用いることで、本来その地域において、生育しないはずの遺伝子をもつ植物が広がるといった、生態系に与える悪影響を回避することができます。

そのため、周辺の生態系への影響が遺伝子レベルで懸念される場合は、種子や苗木の入手に当たっては、植栽を行う場所やその周辺で採取された種子から育成した苗を入手することが望されます。現地やその周辺で種苗の入手が困難な場合は、可能な限り東京都近県から植物材料を入手調達して、遺伝子のかく乱が生じるリスクを低減させることができます。

なお、現在、遺伝子情報が明らかな種子や苗木は十分流通しておらず、それらの確保が課題です。

(3) 植栽種（在来種）選定の例

例えば、東京都新宿区西新宿において植栽種を選ぶ場合には、次の手順となります。

表2 植栽種（在来種）選定の例

| 1 | <p>東京都潜在自然植生図（14 ページ）から新宿区西新宿の潜在自然植生がスダジイ-ヤブコウジ群集であると推定 また、植栽場所が南向きの乾性立地だと考えられる場合、潜在自然植生配分模式図（15 ページから21 ページまで）からも、潜在自然植生がスダジイ-ヤブコウジ群集であると推定</p> | <p>東京都潜在自然植生図 潜在自然植生配分模式図</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|--|------------------------|---|------------------------------|-------------|--------------|-----|---------------------|-------------------|------------------------|---------------------|----------------|------------------|----------------------|--------------------|------------------------------|------------------------|-----------------------------------|---|---|--------------------------|--|--|--|
| 2 | <p>表3からスダジイ-ヤブコウジ群集の構成種の例を確認 (構成種 高木層：アカガシ・スダジイ、亜高木層：サカキ・モチノキ・ヤブツバキ、低木層：ヒサカキ・ネズミモチ・モッコク、草本層：イタチシダ・ジャノヒゲ類・ティカラカズラ・ベニシダ・マンリョウ・ヤブコウジ)</p> | <p>表3 自然植生の植物群落とその構成種の例（ヤブツ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>潜在自然植生</th> <th>1. スダジイ-ヤブコウジ群集</th> <th>2.タブノキ-イノデ群集</th> <th>3.シラカシ群集</th> <th>4.シラカシ群集典型群集</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">高木層</td> <td>アカガシ、スダジイ</td> <td>タブノキ</td> <td>エノキ、シラカシ、シロダモ、ケヤキ、ムクノキ</td> <td>アラカシ、スダジイ、シラカシ、タブノキ</td> </tr> <tr> <td>サカキ、モチノキ、ヤブツバキ</td> <td>シロダモ、ヤブニッケイ</td> <td>シラカシ</td> <td>カゴノキ、モチノキ、ヤブツバキ</td> </tr> <tr> <td>ヒサカキ、ネズミモチ、モッコク</td> <td>ネズミモチ、ビナシカズラ、ヤツチ、ヤブツバキ</td> <td>シロダモ、ネズミモチ、ヒサカキ、ヤブツバキ</td> <td>イロハモミジ、サカキ、サカスフリ、タブノキ、モチノキ、ヒサカキ、ムラサキシキブ</td> </tr> <tr> <td>低木層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 潜在自然植生 | 1. スダジイ-ヤブコウジ群集 | 2.タブノキ-イノデ群集 | 3.シラカシ群集 | 4.シラカシ群集典型群集 | 高木層 | アカガシ、スダジイ | タブノキ | エノキ、シラカシ、シロダモ、ケヤキ、ムクノキ | アラカシ、スダジイ、シラカシ、タブノキ | サカキ、モチノキ、ヤブツバキ | シロダモ、ヤブニッケイ | シラカシ | カゴノキ、モチノキ、ヤブツバキ | ヒサカキ、ネズミモチ、モッコク | ネズミモチ、ビナシカズラ、ヤツチ、ヤブツバキ | シロダモ、ネズミモチ、ヒサカキ、ヤブツバキ | イロハモミジ、サカキ、サカスフリ、タブノキ、モチノキ、ヒサカキ、ムラサキシキブ | 低木層 | | | | |
| 潜在自然植生 | 1. スダジイ-ヤブコウジ群集 | 2.タブノキ-イノデ群集 | 3.シラカシ群集 | 4.シラカシ群集典型群集 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高木層 | アカガシ、スダジイ | タブノキ | エノキ、シラカシ、シロダモ、ケヤキ、ムクノキ | アラカシ、スダジイ、シラカシ、タブノキ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | サカキ、モチノキ、ヤブツバキ | シロダモ、ヤブニッケイ | シラカシ | カゴノキ、モチノキ、ヤブツバキ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ヒサカキ、ネズミモチ、モッコク | ネズミモチ、ビナシカズラ、ヤツチ、ヤブツバキ | シロダモ、ネズミモチ、ヒサカキ、ヤブツバキ | イロハモミジ、サカキ、サカスフリ、タブノキ、モチノキ、ヒサカキ、ムラサキシキブ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低木層 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | <p>表3からスダジイ-ヤブコウジ群集の代償植生がコナラ-イイギリ群落であることを確認</p> | <p>表3 自然植生の植物群落とその構成種の例（ヤブツ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>潜在自然植生</th> <th>1. スダジイ-ヤブコウジ群集</th> <th>2.タブノキ-イノデ群集</th> <th>3.シラカシ群集</th> <th>4.シラカシ群集典型群集</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">高木層</td> <td>アカガシ、スダジイ</td> <td>タブノキ</td> <td>エノキ、シラカシ、シロダモ、ケヤキ、ムクノキ</td> <td>アラカシ、スダジイ、シラカシ、タブノキ</td> </tr> <tr> <td>代償植生</td> <td>コナラ-イイギリ群落</td> <td>ムクノキ-スキ群落、ヨモギ-コウガキ群落</td> <td>コナラ-タグキ群落、スキ-ヒノキ群林</td> <td>コナラ-タグキ群落、コナラ-クニノ群落、スキ-ヒノキ群林</td> </tr> <tr> <td>低木層</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 潜在自然植生 | 1. スダジイ-ヤブコウジ群集 | 2.タブノキ-イノデ群集 | 3.シラカシ群集 | 4.シラカシ群集典型群集 | 高木層 | アカガシ、スダジイ | タブノキ | エノキ、シラカシ、シロダモ、ケヤキ、ムクノキ | アラカシ、スダジイ、シラカシ、タブノキ | 代償植生 | コナラ-イイギリ群落 | ムクノキ-スキ群落、ヨモギ-コウガキ群落 | コナラ-タグキ群落、スキ-ヒノキ群林 | コナラ-タグキ群落、コナラ-クニノ群落、スキ-ヒノキ群林 | 低木層 | | | | | | | |
| 潜在自然植生 | 1. スダジイ-ヤブコウジ群集 | 2.タブノキ-イノデ群集 | 3.シラカシ群集 | 4.シラカシ群集典型群集 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高木層 | アカガシ、スダジイ | タブノキ | エノキ、シラカシ、シロダモ、ケヤキ、ムクノキ | アラカシ、スダジイ、シラカシ、タブノキ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 代償植生 | コナラ-イイギリ群落 | ムクノキ-スキ群落、ヨモギ-コウガキ群落 | コナラ-タグキ群落、スキ-ヒノキ群林 | コナラ-タグキ群落、コナラ-クニノ群落、スキ-ヒノキ群林 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低木層 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 | <p>表4から代償植生コナラ-イイギリ群落の構成種の例を確認 (構成種 高木種：イイギリ・イヌシデ・コナラ・ミズキ、亜高木層：イロハモミジ・エゴノキ・ムクノキ、低木層：シロダモ・ヒサカキ・ビナンカズラ・モチノキ、草本層：オオバジヤノヒゲ・キヅタ・ジャノヒゲ・ベニシダ)</p> | <p>表4 代償植生の植物群落とその構成種の例（ヤブツバキクラ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>代償植生</th> <th>1. ムクノキ-スキ群落</th> <th>2.コナラ-イイギリ群落</th> <th>3.コナラ-タグキ群落</th> <th>4.コナラ-クニノ群落</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">高木層</td> <td>ウツズザクラ、エノキ、ミズキ、ムクノキ</td> <td>イイギリ、イヌシデ、コナラ、ミズキ</td> <td>イヌシデ、クリ、タガラ、コラ、ヤマザクラ</td> <td>イヌシデ、クリ、コラ、ヤマザクラ</td> </tr> <tr> <td>低木層</td> <td>イロハモミジ、エゴノキ、ムクノキ</td> <td>イロハモミジ、エゴノキ、ムクノキ</td> <td>アカシデ、イヌシデ、エゴノキ</td> <td>アカシデ、イヌシデ、エゴノキ</td> </tr> <tr> <td>草本層</td> <td>アキビ、ネズミモチ、ヒサカキ、ビナンカズラ、マコミ、ムラサキシキブ</td> <td>シロダモ、ヒサカキ、ビナンカズラ、モチノキ</td> <td>アキビ、イヌシデ、ヒサカキ、ビナンカズラ、マコミ、タラバ、マツリバ、ヤマツツジ</td> <td>クロモジ、コハガマ、タラバ、マツリバ、ヤマツツジ</td> </tr> </tbody> </table> | 代償植生 | 1. ムクノキ-スキ群落 | 2.コナラ-イイギリ群落 | 3.コナラ-タグキ群落 | 4.コナラ-クニノ群落 | 高木層 | ウツズザクラ、エノキ、ミズキ、ムクノキ | イイギリ、イヌシデ、コナラ、ミズキ | イヌシデ、クリ、タガラ、コラ、ヤマザクラ | イヌシデ、クリ、コラ、ヤマザクラ | 低木層 | イロハモミジ、エゴノキ、ムクノキ | イロハモミジ、エゴノキ、ムクノキ | アカシデ、イヌシデ、エゴノキ | アカシデ、イヌシデ、エゴノキ | 草本層 | アキビ、ネズミモチ、ヒサカキ、ビナンカズラ、マコミ、ムラサキシキブ | シロダモ、ヒサカキ、ビナンカズラ、モチノキ | アキビ、イヌシデ、ヒサカキ、ビナンカズラ、マコミ、タラバ、マツリバ、ヤマツツジ | クロモジ、コハガマ、タラバ、マツリバ、ヤマツツジ | | | |
| 代償植生 | 1. ムクノキ-スキ群落 | 2.コナラ-イイギリ群落 | 3.コナラ-タグキ群落 | 4.コナラ-クニノ群落 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高木層 | ウツズザクラ、エノキ、ミズキ、ムクノキ | イイギリ、イヌシデ、コナラ、ミズキ | イヌシデ、クリ、タガラ、コラ、ヤマザクラ | イヌシデ、クリ、コラ、ヤマザクラ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低木層 | イロハモミジ、エゴノキ、ムクノキ | イロハモミジ、エゴノキ、ムクノキ | アカシデ、イヌシデ、エゴノキ | アカシデ、イヌシデ、エゴノキ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 草本層 | アキビ、ネズミモチ、ヒサカキ、ビナンカズラ、マコミ、ムラサキシキブ | シロダモ、ヒサカキ、ビナンカズラ、モチノキ | アキビ、イヌシデ、ヒサカキ、ビナンカズラ、マコミ、タラバ、マツリバ、ヤマツツジ | クロモジ、コハガマ、タラバ、マツリバ、ヤマツツジ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | <p>現地周辺の自然地に生育する在来種を、現地調査や地域に生育する植物を記した文献等を参考にして確認</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | <p>1から5までで確認できた在来種から、配慮事項にも留意して植栽種を選定</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

表3 自然植生の植物群落とその構成種の例 (ヤブツバキクラス域[※])

| 潜在自然植生 | 1. スダジイ・ヤブコウジ群集 | 2.タブノキ・イノデ群集 | シラカシ群集 | | | 6.モミ・シキミ群集 | 7.アカマツ群落 | 8.トベラ・マサキ群集 | 9.ケヤキー・イロハモミジ群集 |
|---------|--------------------------------------|--|---|---|--|--|----------------|--|-------------------------------------|
| | | | 3.シラカシ群集 ケヤキ・モミ群集 | 4.シラカシ群集 モミ・モミ群集 | 5.シラカシ群集 モミ・モミ群集 | | | | |
| 高木層 | アカガシ、スダジイ | タブノキ | エノキ、シラカシ、シロダモ、ケヤキ、ムクノキ | アラカシ、スダジイ、シラカシ、ツクバネガシ | モミ | アカガシ、アカシデ、アラカシ、イヌブナ、ウラジロガシ、カヤ、サカキ、シラカシ、タカノツメ、ツガ、ツクバネガシ、ネジキ、モミ、リョウブ | アカシテ、アカマツ、アラカシ | なし | アサ、オニイタヤ、ケヤキ |
| 亜高木層 | サカキ、モチノキ、ヤブツバキ | シロダモ、ヤブニッケイ | シラカシ | カゴノキ、モチノキ、ヤブツバキ | アオハダ、アカシデ、アラカシ、ウリカエデ、エンコウカエデ、シラカシ、コナラ、ヤマザクラ、リョウブ | アカガシ、アラカシ、イヌブナ、ウラジロガシ、カヤ、クロモジ、サカキ、シラカシ、シラキ、タカノツメ、ツガ、ツクバネガシ、ネジキ、モミ、リョウブ | アオハダ | なし | イロハモミジ、チドリノキ、ミツデカエデ |
| 低木層 | ヒサカキ、ネズミモチ、モッコク | ネズミモチ、ビナンカズラ、ヤツデ、ヤブツバキ | シロダモ、ネズミモチ、ヒサカキ、ヤブツバキ | イロハモミジ、サカキ、サネカラズ、シロダモ、ツルグミ、ネズミモチ、ヒサカキ、ムラサキシキブ | アセビ、ウリカエデ、オトコヨウジメ、コアジサキ、ツクバネウソギ、ツルグミ、ナツハゼ、ネジキ、ヤブムラサキ、ヤマツツジクロモジ | アセビ、コアジサイ、シキミ、シラキ、ティカズラ、ネジキ、バイカツツジ、ヒイラギ、ヒサカキ、ミヤマシキミ、ヤブツバキ、ヤブムラサキ、ヤマツツジ、リョウブ | ネジキ、ヒサカキ、ヤマウルシ | アカメガシワ、オオバグミ、クサギ、シロダモ、トベラ、ヌルデ、フウトウカズラ、マサキ、ヤブニッケイ | ウリノキ、ガクウツギ、コクサギ、タマアジサイ、ヒメウツギ、ヤマアジサイ |
| 草本層(林床) | イタチシダ、ジャノヒゲ類、ティカカズラ、ベニシダ、マンリョウ、ヤブコウジ | アイアスカイノデ、アスカイノデ、イノデ、キチジョウソウ、キヅタ、シケシダ、ベニシダ、ヤブラン | オオバジャノヒゲ、オクマワラビ、オモト、ジャノヒゲ、ドクダミ、ベニシダ、ミズヒキ、ヤブソテツ、ヤブコウジ、ヤブラン | アケビ、アラカシ、キツタ、ジャノヒゲ、フジ、ヤブコウジ | イヌガヤ、ウリカエデ、カヤ、キッコウハグマ、キツタ、ジャノヒゲ、シラン、シラカシ、モミ、ヤブラン | アセビ、アラカシ、オオバジャノヒゲ、カヤ、コアジサイ、シキミ、ジャノヒゲ、シラカシ、ツクバネガシ、ティカズラ、ベニシダ、ミヤマシキミ、ヤブツバキ、ヤマツツジ | なし | オニヤフソテツ、ツワフキ、ヒゲスゲ | カンスゲ、キヨタキシダ、コアカソ、シュウモンジシダ |
| 代償植生 | コナラ-イイギ群落 | ムクノキ-ミズキ群落、ヨモギ-ユウガギク群集 | コナラ-クヌギ群集、スギ・ヒノキ植林 | コナラ-クヌギ群集、コナラ-クリ群集、スギ・ヒノキ植林 | なし | なし | なし | なし | フサザクラ-タマアジサイ群集、スギ・ヒノキ植林 |

| 潜在自然植生 | 10.ムクノキ-エノキ群団 | | 11.ハンノキ-オニスゲ群集 | 12.オノエヤナギクラス | | | 14.冠水河辺草原(中流部) | | |
|---------|---------------|-------------------------------------|--|--|---|---|----------------|---------------------------------------|---------------|
| | 1)ハンノキ-ムクノキ群集 | 2)ハンノキ-ゴマギ群集 | | 1)アカメヤナギ-ジャヤナギ群集 | 2)コゴメヤナギ群集 | 3)タチヤナギ群集 | 1)オキ群集 | 2)クサヨシ-セリ | 3)コガマ-サンカクイ群集 |
| 高木層 | タブノキ、ミズキ、ムクノキ | なし | ハンノキ | ジャヤナギ、ヒメグルミ | コゴメヤナギ | なし | なし | なし | なし |
| 亜高木層 | シロダモ | なし | ハンノキ | アケビ、ヒメグリ、ミズキ | コゴメヤナギ | なし | なし | なし | なし |
| 低木層 | なし | ムラサキシキブ | イボタノキ | イボタノキ、カラスウリ、ノイバフ、マユミ | エノキ、キツタ、タチヤナギ、ニワトコ | イヌコリヤナギ、オノエヤナギ、タチヤナギ | なし | なし | なし |
| 草本層(林床) | なし | キチジョウソウ、ヤブラン、オニスケ、オモダカ、チゴサザ、ヒメシダ、メギ | イボクサ、オニスケ、オモダカ、チゴサザ、ヒメシダ、メギ | アケビ、アマチャヅル、アマチャヅル、イタドリ、イノコユリ、カラスウリ、ノイバフ、ハナタデ、ヒカゲイノコズチ、ミズヒキ、ミゾイチゴツナギ、ヤエムグラ、ヤブラン | アマチャヅル、カキドオシ、カナムグラ、キツネガヤ、クサヨシ、コモチマンネングサ、ツユクサ、ヤブマメ、ヤマノイモ、ヨモギ | オギ、スズメノエンドウ、ツユクサ、メドハギ、ヤブガラシ、ヤブマメ、ヨシ、ヨモギ | クサヨシ、ミヅコウジュ | オギ、クサヨシ、コガマ、サンカクイ、セリ、ツルヨシ、ヒメガマ、ミクリ、ヨシ | |
| 代償植生 | ムクノキ-ミズキ群落 | コナギ-ウリカラ群集、アゼナキ群集、コブナグサ-スカキビ群集、オギ群落 | コブナグサ-コウガイゼキショウ群集、ヘラオモダカ群落、コガマ群落、ヒメシダ群落、ヨシ群落 | アキメヒシバ-オヒシバ群集、ヨモギ-ユウガギク群集、ススキ-チガヤ群落 | ススキ-チガヤ群集、コセンダングサ植分、イタドリ植分 | オギ群集、カナムグラ-アキノノゲン群集、クサヨシ-セリ群集 | なし | ギシギシ類優占群落、センダングサ類優占群落 | ヤナギタデ植分 |

表4 代償植生の植物群落とその構成種の例（ヤブツバキクラス域）

| 代償植生 | ムクノキ-ミズキ群落 | コナラ-イイギリ群落 | コナラ-クスギ群集 | | コナラ-クリ群集 | | アカマツ-ヤマツツジ群集 | |
|---------|-----------------------------------|-------------------------|---|---|---|---|--|--|
| | | | コナラ-クスギ群集典型亞群集 | コナラ-クスギ群集ヤマツツジ亞群集 | コナラ-クリ群集典型亞群集 | コナラ-クリ群集ヒサカキ亞群集 | アカマツ-ヤマツツジ群集典型亞群集 | アカマツ-ヤマツツジ群集ヒサカキ亞群集 |
| 高木層 | ウワミズザクラ、エノキ、ミズキ、ムクノキ | イイギリ、イヌシデ、コナラ、ミズキ | イヌシデ、クリ、クヌギ、コナラ、ヤマザクラ | イヌシデ、クリ、コナラ、ヤマザクラ | クリ、コナラ、モミ、ヤマザクラ | クリ、コナラ、シラカシ、モミ、ヤマザクラ | アカマツ | アカマツ |
| 亜高木層 | イロハモミジ、エゴノキ、ムクノキ | イロハモミジ、エゴノキ、ムクノキ | アカシデ、イヌシデ、エゴノキ | アカシデ、イヌシデ、エゴノキ | オハダ、アカシデ、エゴノキ、マルバアオダモ、リョウブ | オハダ、アカシデ、エゴノキ、マルバアオダモ、リョウブ | オハダ、クマシデ、コナラ、マルバアオダモ、ミズキ、リョウブ | オハダ、ウラジロガシ、ウラジロノキ、コナラ、マルバアオダモ、ヤマツツジ、リョウブ |
| 低木層 | アケビ、ネズミモチ、ヒサカキ、ビナンカズラ、マユミ、ムラサキシキブ | シロダモ、ヒサカキ、ビナンカズラ、モチノキ | アケビ、イヌツゲ、ガマズミ、カマツカ、サワフタギ、マユミ、ムラサキシキブ | クロモジ、コバノガマズミ、タラノキ、ツリバナ、ヤマツツジ | カマツカ、クロモジ、コアジサイ、コゴメウツギ、コバンガマズミ、ツクバネウツギ、ツリバナ、ムラサキシキブ、ヤマウグイスカグラ、ヤマウルシ、ヤマツツジ | カマツカ、クロモジ、コアジサイ、コゴメウツギ、コバンガマズミ、ツクバネウツギ、ツリバナ、ツルグミ、ヒサカキ、ムラサキシキブ、ヤマウグイスカグラ、ヤマツツジ | アセビ、アフラチャン、サンショウ、ネジキ、マルバアオダモ、ミツバツツジ、ムラサキシキブ、ヤマツツジ、リョウブ | タカノツメ、ネジキ、ヒサカキ、マルバアオダモ、ミツバツツジ、ヤブツバキ、ヤマツツジ、リョウブ |
| 草本層(林床) | イヌワラビ、アマチャヅル、キヅタ、シケンダ、ジャノヒゲ、ミズヒキ | オオバジャノヒゲ、ジャノヒゲ、キヅタ、ベニシダ | オオツヅラフジ、アマチャヅル、オニドコロ、コチヂミザサ、サルトリイバラ、シラヤマギク、スイカズラ、タチツボスミレ、ツタ、ヌスピトハギ、ノガリヤス、ノブドウ、ヘクソカズラ、ミツバツチグリ、ヤブラン | コウヤボウキ、コゴメウツギ、チゴユリ、ハンショウヅル、ヒメドコロ、モミジイチゴ | アキノキリンソウ、コウヤボウキ、ジャノヒゲ、シュンラン、チゴユリ、ナガバコウヤボウキ、ネジキ、ノガリヤス | アキノキリンソウ、コウヤボウキ、ジャノヒゲ、シュンラン、チゴユリ、ティカズラ、ナガバコウヤボウキ、ネジキ、ノガリヤス | オオツヅラフジ、イヌツゲ、ガマズミ、ツリバナ、ミズキ、モミジイチゴ、ヤマツツジ | シノブ、ナツハゼ、ノガリヤス、ヒサカキ、ヘクソカズラ、ヤブコウジ |

| 代償植生 | ススキ-チガヤ群落 | ヨシ-オオクサキビ群落 |
|---------|-----------------------------|----------------------|
| 高木層 | | |
| 亜高木層 | | |
| 低木層 | | |
| 草本層(林床) | キンエノコロ、ススキ、チガヤ、テリハノイバラ、メドハギ | エノコログサ、オオクサキビ、スギナ、ヨシ |

※東京都（本土部）の潜在自然植生は、ヤブツバキクラス域、ブナクラス域※及びトウヒ-コケモモクラス域※の植物群落からなっていますが、本ガイドラインが誘導する市街地の緑化が行われる場所は、主にヤブツバキクラス域に含まれます。そのため、ヤブツバキクラス域での生育が確認される自然植生の植物群落とその構成種の例について、表3及び表4にまとめました。

※表3及び表4で示したものは一例であり、その他にも各地域に適した在来種はあります。

※植栽基盤が確保されていないと表3及び表4で示した在来種が健全に生育することは困難です。

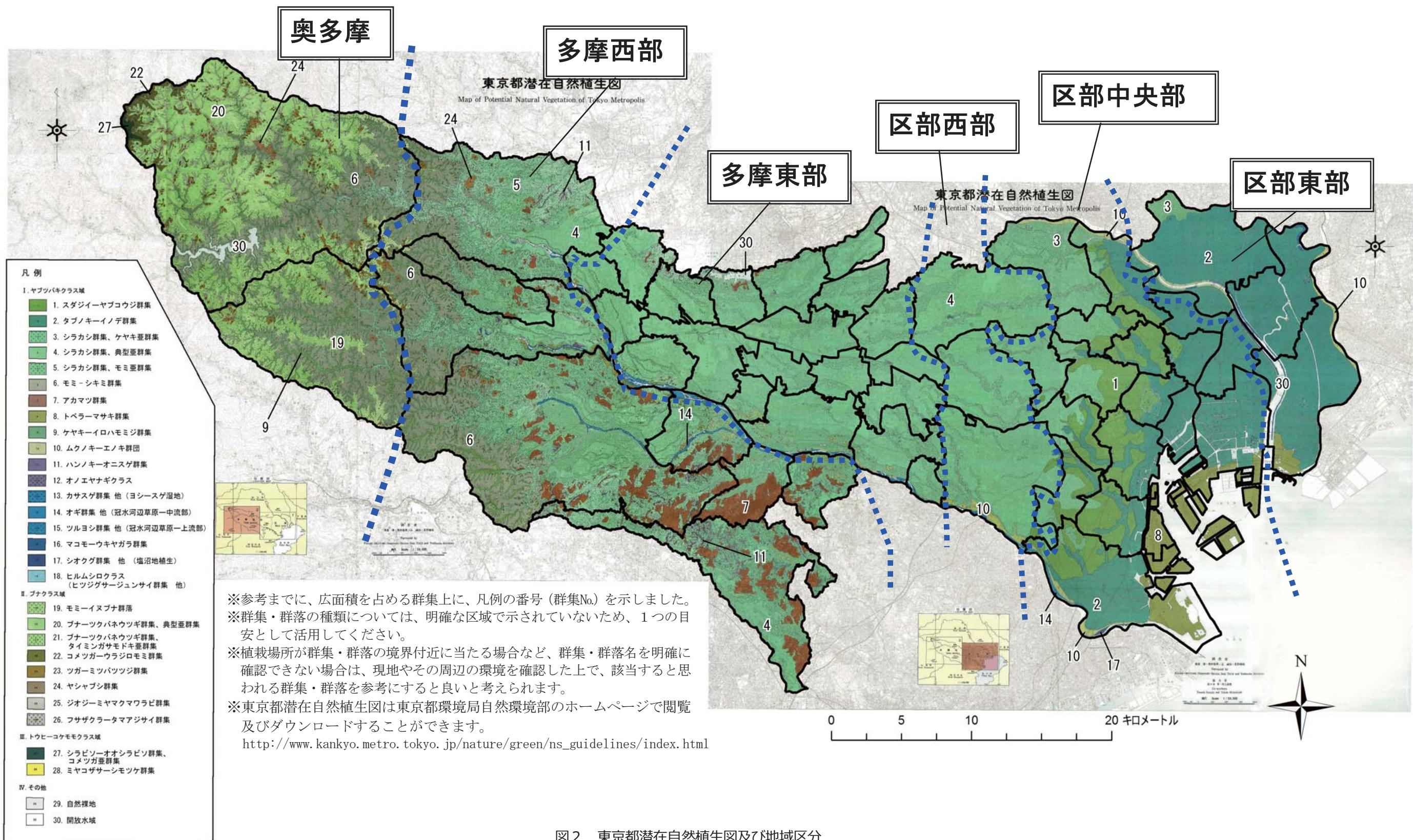
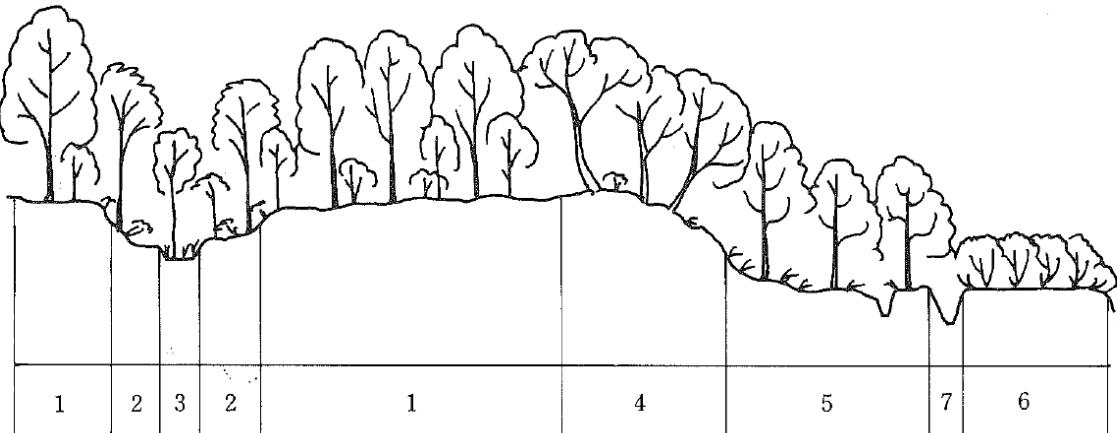


図2 東京都潜在自然植生図及び地域区分

【参考】潜在自然植生配分模式図

東京都潜在自然植生図で示された同一の群集・群落のなかでも、微地形によって植生が異なります。微地形に応じた植生については、潜在自然植生配分模式図が参考となりますので、14 ページで示した地域区分ごとに 15 ページから 21 ページまでに示しました。

【区部中央部】



出典：「東京都の植生」（奥富ら、1987）

図 潜在自然植生配分模式図（区部中央部）

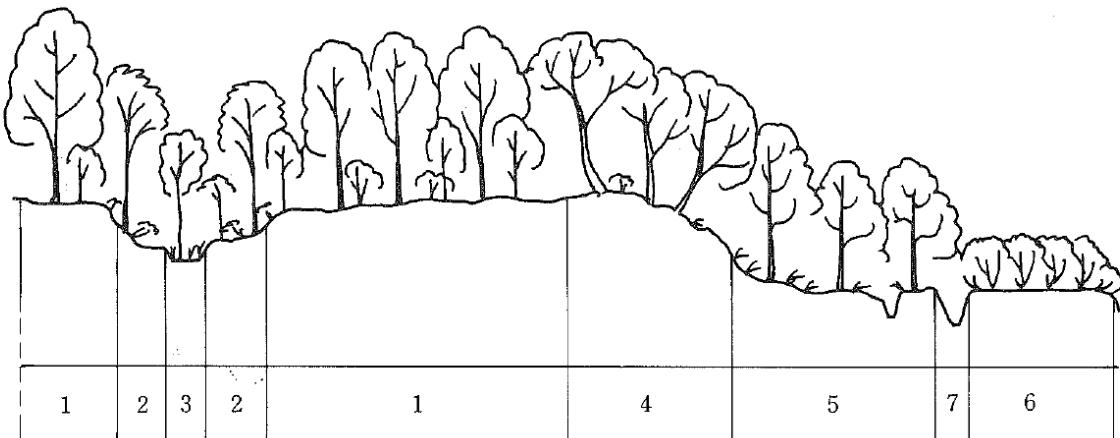
表 潜在自然植生配分（区部中央部）

| No. | 群集・群落名 | 成立推定環境 |
|-----|--------------|--|
| 1 | シラカシ群集典型亞群集 | ・比較的平坦なローム質土壤上の台地面 |
| 2 | シラカシ群集ケヤキ亞群集 | ・段丘崖 ・凹地・小さな谷などの、黒ボク土で覆われた適潤から湿までの富栄養地 |
| 3 | ハンノキーオニスグ群集 | ・排水が極めて悪く、浅く地上水が見られるような湿地 |
| 4 | スタジイーヤブコウジ群集 | ・台地東縁部 ・凸状で南向きの乾性立地 |
| 5 | タブノキーイノデ群集 | ・東京湾沿いの沖積低地 ・台地下端の崩積土壤や沖積土壤が堆積した凹状の傾斜面 |
| 6 | トベラーマサキ群集 | ・塩風の影響が強い地域 (有明地区、夢の島等、東京湾に突出して造成された地域) |
| 7 | 運河 | — |

※6 トベラーマサキ群集と推定されている地域の植生は、5 タブノキーイノデ群集に置き換える。

（理由：植栽基盤を整備すればタブノキーイノデ群集が成立しうるエリアであるため）

【区部東部】



出典：「東京都の植生」（奥富ら, 1987）

図 潜在自然植生配分模式図（区部東部）

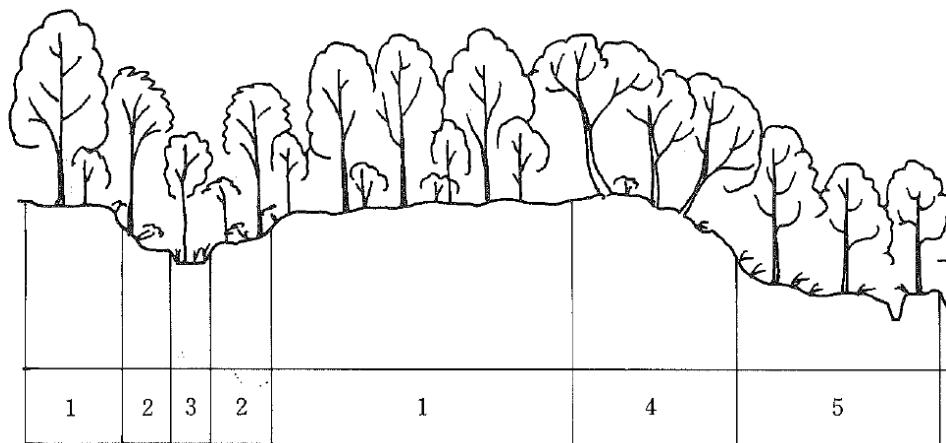
表 潜在自然植生配分（区部東部）

| No. | 群集・群落名 | 成立推定環境 |
|-----|--------------|--|
| 1 | シラカシ群集典型亞群集 | ・比較的平坦なローム質土壤上の台地面 |
| 2 | シラカシ群集ケヤキ亞群集 | ・段丘崖 ・凹地・小さな谷などの、黒ボク土で覆われた適潤から湿までの富栄養地 |
| 3 | ハンノキーオニスグ群集 | ・排水が極めて悪く、浅く地上水が見られるような湿地 |
| 4 | スダジイーヤブコウジ群集 | ・台地東縁部 ・凸状で南向きの乾性立地 |
| 5 | タブノキーイノテ群集 | ・東京湾沿いの沖積低地 ・台地下端の崩積土壤や沖積土壤が堆積した凹状の傾斜面 |
| 6 | トベラーマサキ群集 | ・塩風の影響が強い地域 (有明地区、夢の島等、東京湾に突出して造成された地域) |
| 7 | 運河 | — |

※6 トベラーマサキ群集と推定されている地域の植生は、5 タブノキーイノテ群集に置き換える。

（理由：植栽基盤を整備すればタブノキーイノテ群集が成立しうるエリアであるため）

【区部西部】



出典：「東京都の植生」（奥富ら、1987）

図 潜在自然植生配分模式図（区部西部）

表 潜在自然植生配分（区部西部）

| No. | 群集・群落名 | 成立推定環境 |
|-----|--------------|---|
| 1 | シラカシ群集典型亞群集 | ・比較的平坦なローム質土壤上の台地面 |
| 2 | シラカシ群集ケヤキ亞群集 | ・段丘崖 ・凹地・小さな谷などの、黒ボク土で覆われた適潤から湿までの富栄養地 |
| 3 | ハンノキーオニスグ群集 | ・排水が極めて悪く、浅く地上水が見られるような湿地 |
| 4 | スダジイーヤブコウジ群集 | ・台地東縁部 ・凸状で南向きの乾性立地 |
| 5 | タブノキーイノテ群集 | ・東京湾沿いの沖積低地 ・台地下端の崩積土壤や沖積土壤が堆積した凹状の傾斜面 |
| 一 | オギ群集他 | ・多摩川等の河辺 ※現存植生がそのまま潜在自然植生となる。 |

【多摩東部】

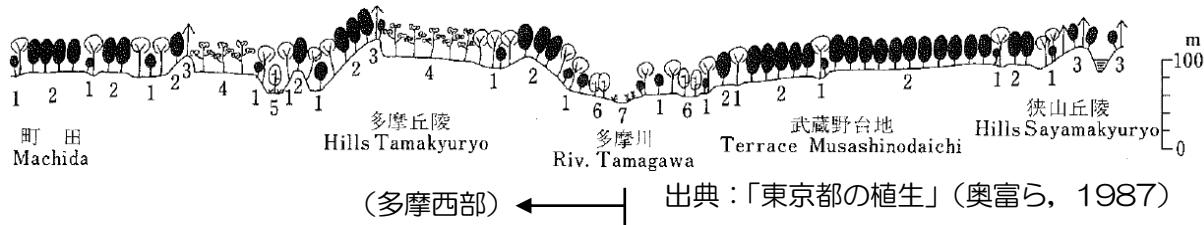


図 潜在自然植生配分模式図 (多摩東部)

表 潜在自然植生配分 (多摩東部)

| No. | 群集・群落名 | 成立推定環境 |
|-----|--------------|---|
| 1 | シラカシ群集ケヤキ亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 段丘崖 凹地・小さな谷などの、黒ボク土で覆われた適潤から湿までの富栄養地 |
| 2 | シラカシ群集典型亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 台地の平坦面 丘陵の緩斜面 |
| 3 | シラカシ群集モミ亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 台地上で小高い場所 |
| 4 | アカマツ群落 | <ul style="list-style-type: none"> 丘陵地の大規模な表土かく乱地 |
| 5 | ハンノキーオニスグ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 池沼の周縁部や旧河床沿い等で、常に停滞水がみられるような場所 |
| 6 | ハンノキーゴマキ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 多摩川流域の沖積低地の水田 丘陵地の谷部 |
| 7 | オギ群集他 | <ul style="list-style-type: none"> 多摩川、秋川、浅川等の河辺 |

※4 アカマツ群落と推定されている地域の植生は、2 シラカシ群集典型亞群集に置き換える。

(理由: 植栽基盤を整備すればシラカシ群集典型亞群集が成立しうるエリアであるため)

【多摩西部】

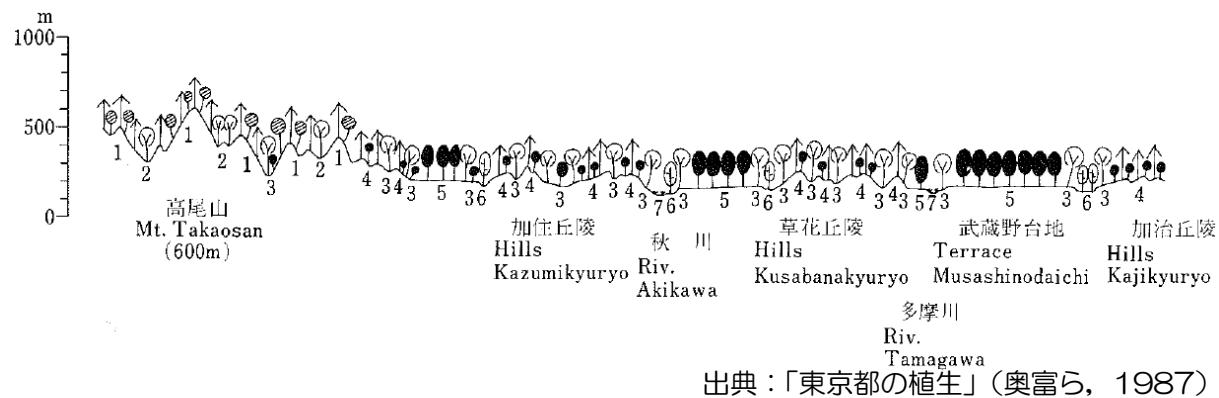
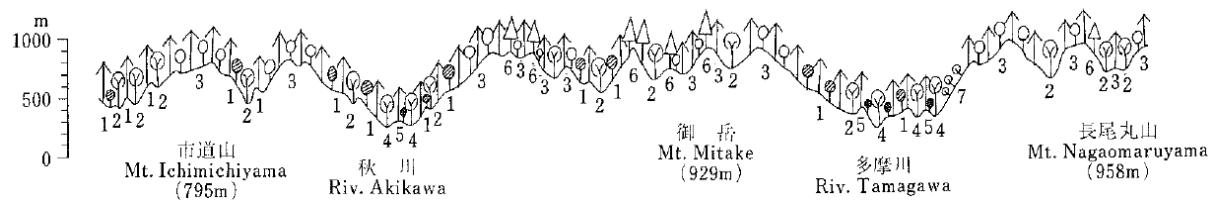


図 潜在自然植生配分模式図（多摩西部）

表 潜在自然植生配分（多摩西部）

| No. | 群集・群落名 | 成立推定環境 |
|-----|--------------|--|
| 1 | モミーシキミ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海拔 350m から 700mまでの山地下部 ケヤキーイロハモミジ群集の領域を除いた、山腹から尾根までの地域 |
| 2 | ケヤキーイロハモミジ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海拔約 350m から 900mまでの渓谷沿いや沢筋 沢筋でれきが転がっている所 渓谷沿いの急斜面などで土壤の堆積があまりない所 |
| 3 | シラカシ群集ケヤキ亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 段丘崖 凹地・小さな谷などの、黒ボク土で覆われた適潤から湿までの富栄養地 山地下部の沢筋 |
| 4 | シラカシ群集モミ亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 台地上で小高い場所 |
| 5 | シラカシ群集典型亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 台地の平坦面 丘陵の緩斜面 |
| 6 | ハンノキーゴマキ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 丘陵地の谷部 |
| 7 | ツルヨシ群集他 | <ul style="list-style-type: none"> 多摩川、秋川、浅川等の河辺 |

【奥多摩】(奥多摩中央部)



出典：「東京都の植生」(奥富ら, 1987)

図 潜在自然植生配分模式図(奥多摩中央部)

表 潜在自然植生配分(奥多摩中央部)

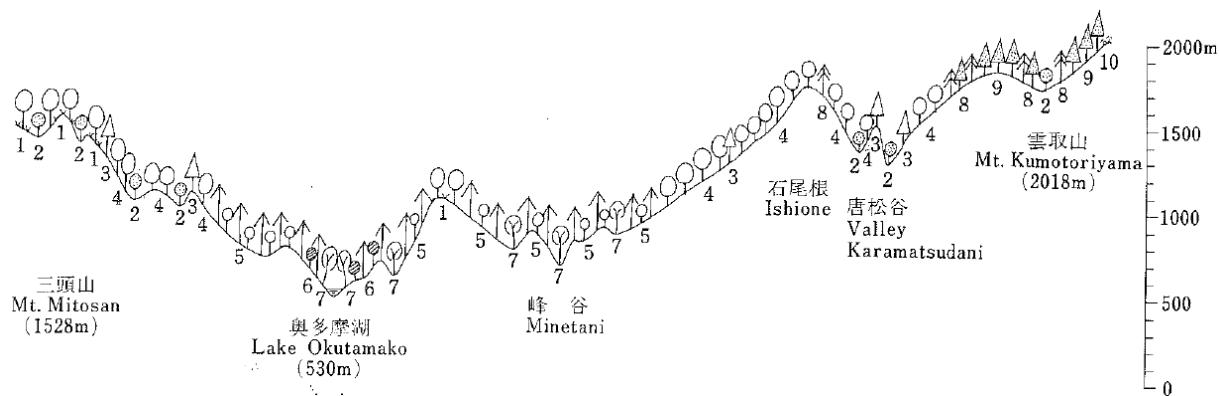
| No. | 群集・群落名 | 成立推定環境 |
|-----|--------------|---|
| 1 | モミーシキミ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海拔約350mから700mまでの山地下部 ケヤキーイロハモミジ群集の領域を除いた、山腹から尾根までの地域 |
| 2 | ケヤキーイロハモミジ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海拔約350mから900mまでの渓谷沿いや沢筋 沢筋でれきが転がっている所 渓谷沿いの急斜面などで土壤の堆積があまりない所 |
| 3 | モミーイヌブナ群落 | <ul style="list-style-type: none"> 海拔約700mから1,000mまでの山腹斜面 |
| 4 | シラカシ群集ケヤキ亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海拔約350mまでの山地下部の沢筋 |
| 5 | シラカシ群集モミ亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海拔約350mまでの山地下部の山腹斜面から尾根筋の地域 |
| 6 | ツガーミツバツツジ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海拔約700m以上のブナクラス域の尾根筋や急斜面の岩角地 |
| 7 | ヤシャブシ群落 | <ul style="list-style-type: none"> 山側岩盤地の急傾斜な切取斜面 |

※7 ヤシャブシ群落と推定されている地域の植生は、標高に応じて4 シラカシ群集ケヤキ亞群集、2 ケヤキーイロハモミジ群集又は6 ツガーミツバツツジ群集に置き換える。

(理由：植栽基盤を整備すれば、標高に応じて、上記の植物群落が成立しうるエリアであるため)

※ブナクラス域の構成種の例は表3(12ページ)、表4(13ページ)では示していません。現地周辺に在来種が多く生育していることから、在来種の例は、現地周辺の植生を参考にできます。

【奥多摩】(奥多摩西部地域)



出典：「東京都の植生」(奥富ら, 1987)

図 潜在自然植生配分模式図 (奥多摩西部地域)

表 潜在自然植生配分 (奥多摩西部地域)

| No. | 群集・群落名 | 成立推定環境 |
|-----|------------------------------|---|
| 1 | ブナーツクバネウツギ群集 タイミンガサモドキ亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 黒ボク土に覆われた尾根から比較的緩やかな山腹斜面 大岳山～御前山～月夜見山～三頭山の稜線付近の黒ボク土に覆われた地域 三頭山～楨寄山～土俵岳の稜線付近の黒ボク土に覆われた地域 |
| 2 | シオジーミヤマクマワラビ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海抜約 900m以上の沢筋や凹状斜面の大小のれきに富んだ立地 |
| 3 | ツガーミツバツツジ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海抜約 700m以上のブナクラス域の尾根筋や急斜面の岩角地 |
| 4 | ブナーツクバネウツギ群集 典型亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海抜約 1,000m から 1,700mまでの山腹斜面 |
| 5 | モミーイヌブナ群落 | <ul style="list-style-type: none"> 海抜約 700m から 1,000mまでの山腹斜面 |
| 6 | モミーシキミ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海抜約 350m から 700mまでの山地下部 ケヤキーイロハモミジ群集の領域を除いた、山腹から尾根までの地域 |
| 7 | ケヤキーイロハモミジ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 海抜約 350m から 900mまでの渓谷沿いや沢筋 沢筋でれきが転がっている所 渓谷沿いの急斜面などで土壤の堆積があまりない所 |
| 8 | コメツガーウラジロモミ群落 | <ul style="list-style-type: none"> 海抜約 1,700m から 1,800mまでの山腹斜面 海抜約 1,450mを下限とする尾根筋の岩角地 |
| 9 | シラビソーオオシラビソ群集 コメツガ亞群集 | <ul style="list-style-type: none"> 雲取山を中心とする海抜約 1,800m以上の地域 |
| 10 | ミヤコザサーシモツケ群集 | <ul style="list-style-type: none"> 雲取山周辺の風衝地 |

※ブナクラス域の構成種の例は表3 (12 ページ) 及び表4 (13 ページ) では示していません。現地周辺に在来種が多く生育していることから、在来種の例は、現地周辺の植生を参考にできます。

【参考資料】

植物のリスト

【リスト A】

「東京都本土部における植栽のための在来種リスト」

「東京都の野生生物種目録」1998年版（東京都環境保全局）を基礎資料として、東京都本土部の在来種を「生活型※」ごとに整理しました。

在来種であっても絶滅危惧種等は、植栽材料として十分な供給量が確保されていないこと、かつ維持管理が難しいことから、原則として掲載はしていません。

絶滅危惧種等については、最新の「東京都の保護上重要な野生生物種」（本土部）～東京都レッドリスト～を参考にしてください。

生産量について

表中にある生産量の欄は、平成25年度「公用緑化樹木市場調査」供給可能量・調達難易度調査書2013樹種別・規格別・都道府県別（一般財団法人日本緑化センター監修、一般社団法人日本植木協会制作・発行）に掲載されている「H25_供給可能量一覧表」を参考にして、関東地方における供給可能量について栽培様式等を問わず樹木名ごとに整理し、次の凡例のとおり、まとめました。

A : 10,000本以上

B : 5,000本以上 10,000本未満

C : 1,000本以上 5,000本未満

D : 1,000本未満

— : 情報なし

※ なお、生産量は変動しますので、上記の生産量は参考情報として御覧ください。

※ 在来種の選定に当たっては、入手可能な在来種を選ぶ必要があります。

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|----|-----|---------|----|-----|
|-----|----|-----|---------|----|-----|

■高木・亜高木

◆常緑高木

| | | | | | |
|----|--------|------|---|--|---|
| 1 | アカガシ | 常緑高木 | 陰樹。成木後は陽光を要する。潮風及び大気汚染に強い。 | | — |
| 2 | アラカシ | 常緑高木 | 山麓に生育する。中庸樹～陰樹。大気汚染に強い。岩石地に強い。 | | A |
| 3 | ウラジロガシ | 常緑高木 | 陽樹。山地に生育する。土壤の薄い場所でも生育できる。 | | D |
| 4 | シキミ | 常緑高木 | 陰樹。陰湿地に適する。果実が有毒である。 | | D |
| 5 | シラカシ | 常緑高木 | 中庸樹～陰樹。成木後は陽光を要する。潮風及び煙害に強い。 | | A |
| 6 | シロダモ | 常緑高木 | 中庸樹～陰樹。適潤肥沃地を好む。 | | C |
| 7 | スダジイ | 常緑高木 | 中庸樹～やや陰樹。成木は陽光地に耐える。潮風及び煙害に強い。 | | A |
| 8 | タブノキ | 常緑高木 | 沿海地に多い。陽樹。耐潮性に優れる。 | | A |
| 9 | ツクバネガシ | 常緑高木 | 沢沿いの急斜面を好む。陽樹。 | | — |
| 10 | ヒイラギ | 常緑高木 | 山地に生育する。極陰樹。煙害及び潮害に耐える。 | | C |
| 11 | モチノキ | 常緑高木 | 常緑樹林内に生育する。陰樹だが陽地にも耐える。耐寒、耐陰及び耐潮性が強い。 | | B |
| 12 | ヤブツバキ | 常緑高木 | 極陰樹。潮風及び大気汚染に強い。 | | — |
| 13 | ヤブニッケイ | 常緑高木 | 海岸沿岸地に生育する。陰樹～中庸樹。耐潮性がある。 | | C |
| 14 | ヤマモモ | 常緑高木 | 常緑樹林に生育する。陰樹～中庸樹。耐潮性がある。適潤肥沃地を好むが、乾燥地にも耐える。 | | C |

◆常緑針葉高木

| | | | | | |
|----|------|--------|---|--|---|
| 15 | アカマツ | 常緑針葉高木 | 山麓から標高2000m付近まで生育する。極陽樹。大気汚染及び潮害に弱い。乾燥地に強い。 | | C |
| 16 | イヌガヤ | 常緑針葉高木 | 陰樹。水湿地に耐える。 | | — |
| 17 | イヌマキ | 常緑針葉高木 | 海岸に近い山地に生育する。陰樹。耐潮性に優れる。水湿地にも耐える。 | | A |
| 18 | カヤ | 常緑針葉高木 | 極陰樹。水湿に耐える。 | | C |
| 19 | クロマツ | 常緑針葉高木 | 海岸沿いに多いが、標高800mから900mまで生育する。極陽樹。耐潮性及び耐乾性あり。 | | A |
| 20 | サワラ | 常緑針葉高木 | 陰樹～中庸樹だが陽地にも耐える。水湿に耐える。 | | A |
| 21 | スギ | 常緑針葉高木 | 陽樹だが多少の日陰に耐える。土地を選ばない。大気汚染に弱い。 | | C |
| 22 | ツガ | 常緑針葉高木 | 山地に生育する。陰樹～中庸樹。潮風及び水湿地に耐える。 | | D |
| 23 | ヒノキ | 常緑針葉高木 | 山地に生育する。陰樹だが陽地にも耐える。乾燥及び大気汚染に強い。 | | B |
| 24 | モミ | 常緑針葉高木 | 山地に生育する。陰樹～陽樹。乾燥地に耐える。大気汚染に弱い。 | | — |

◆落葉高木

| | | | | | |
|----|--------|------|--|----------|---|
| 25 | アオハダ | 落葉高木 | 低山地の林内に生育する。陽樹。 | | C |
| 26 | アカシデ | 落葉高木 | 河岸、平地又はやや水分の多い肥沃な山地に生育する。中庸樹。 | | A |
| 27 | アカメガシワ | 落葉高木 | 暖地の平地や山野に生育する。陽樹。適潤肥沃地を好む。潮風に耐える。 | | — |
| 28 | アカメヤナギ | 落葉高木 | 平野の河岸などの水湿地に生育する。陽樹。 | 別名マルバヤナギ | — |
| 29 | アワブキ | 落葉高木 | 山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 30 | イタヤカエデ | 落葉高木 | 山地に生育する。中庸樹～陽樹。肥沃深層土を好む。 | | C |
| 31 | イヌエンジュ | 落葉高木 | 山地の林縁や河岸に生育する。中庸樹～陽樹。適潤肥沃地によい。耐寒性に優れる。大気汚染に弱い。 | | C |
| 32 | イヌザクラ | 落葉高木 | 山地に生育する。陽樹。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|----------|------|--|---------|-----|
| 33 | イヌシデ | 落葉高木 | 山地にふつうに生育するが、人里近くでも生育する。中庸樹～陰樹。潮風及び煙害に強い。 | | B |
| 34 | イヌブナ | 落葉高木 | 中間温帶林に多産する。陽樹。 | | — |
| 35 | イロハモミジ | 落葉高木 | 低山の林内に生育する。中庸樹～陰樹。陽光地に耐える。潮風と大気汚染に弱い。 | | A |
| 36 | ウラジロノキ | 落葉高木 | 山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 37 | ウリハダカエデ | 落葉高木 | 低山の林内に生育する。陽樹。 | | D |
| 38 | ウワミズザクラ | 落葉高木 | 日当たりの良い谷あいや沢の斜面に生育する。陽樹。 | | — |
| 39 | エゴノキ | 落葉高木 | 山麓や山の谷間に生育する。陰樹～中庸樹。耐潮性あり。 | 園芸品種に注意 | A |
| 40 | エノキ | 落葉高木 | 向陽適潤地に生育する。陽樹～中庸樹。土壌を選ばない。耐潮性に優れる。 | | B |
| 41 | オオモミジ | 落葉高木 | 低山の林内に生育する。陽樹。 | | — |
| 42 | オニイタヤ | 落葉高木 | 陽樹。 | | — |
| 43 | オニグルミ | 落葉高木 | 川沿いの湿気の多い場所に生育する。陽樹。地下水分の多い土地を好む。 | | — |
| 44 | カジカエデ | 落葉高木 | 山地林内に生育する。中庸樹。 | | — |
| 45 | カスミザクラ | 落葉高木 | 山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 46 | カツラ | 落葉高木 | 山地の特に谷沿いに生育する。中庸樹～陽樹。湿気のある土地を好む。乾燥地には不適。 | | A |
| 47 | クヌギ | 落葉高木 | 山地及び丘陵地に生育する。陽樹～中庸樹。水湿地に耐える。 | | A |
| 48 | クマシデ | 落葉高木 | 山地の向陽の谷沿いなどに生育する。陽樹。 | | — |
| 49 | クマノミズキ | 落葉高木 | 山地に分布する。陽樹。 | | — |
| 50 | クリ | 落葉高木 | 極陽樹。潮風に耐える。乾燥は好まない。 | | — |
| 51 | ケヤキ | 落葉高木 | 肥沃地や溪畔によく生育する。陽樹。潮風、乾燥及び大気汚染に弱い。 | | A |
| 52 | ケヤマハンノキ | 落葉高木 | 山野及び溪畔に産する。陽樹。 | | — |
| 53 | ケンポナシ | 落葉高木 | 陽樹～中庸樹。 | | — |
| 54 | コナラ | 落葉高木 | 向陽の山野にふつうに生育する。陽樹～中庸樹。乾燥地に耐える。 | | A |
| 55 | コハウチワカエデ | 落葉高木 | 低山の林内に生育する。陽樹。 | | — |
| 56 | コブシ | 落葉高木 | 山地や低地に生育する。中庸樹。湿地に耐える。 | | A |
| 57 | ゴンズイ | 落葉高木 | 二次林又は林縁に生育する。中庸樹。陰地に耐える。 | | — |
| 58 | サイカチ | 落葉高木 | 原野の水辺に生育する。陽樹。河辺湿地を好む。 | | — |
| 59 | サワグルミ | 落葉高木 | 山地の川沿いの砂礫地に生育する。やや陰樹。陽光に耐える。 | | — |
| 60 | サワシバ | 落葉高木 | 山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 61 | シラキ | 落葉高木 | 山地に生育する。陽樹。 | | D |
| 62 | タラノキ | 落葉高木 | 低地の二次林に生育する。陽樹。 | | — |
| 63 | チドリノキ | 落葉高木 | 山地の谷間に生育する。陽樹。 | | — |
| 64 | チョウジザクラ | 落葉高木 | 陽樹。 | | — |
| 65 | トチノキ | 落葉高木 | 低山帯の深山の溪流沿いの肥沃地に生育する。陰樹だが陽地にも耐える。肥沃な深層壤土を好み、乾燥地を嫌う。 | | C |
| 66 | ニガキ | 落葉高木 | 低地の林内に生育する。陽樹。 | | — |
| 67 | ヌルデ | 落葉高木 | 平地の二次林に生育する。陽樹。乾燥地を好む。 | | — |
| 68 | ネムノキ | 落葉高木 | 林縁、原野などの日当たりの良い湿地に生育する。陽樹。潮風に強い。乾地及びやせ地に耐える。大気汚染に弱い。 | | C |
| 69 | ハウチワカエデ | 落葉高木 | 低山帯から亜高山帯下部までの林の中に生育する。中庸樹だがやや陽地に耐える。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|---------|------|-----------------------------------|-----------|-----|
| 70 | ハクウンボク | 落葉高木 | 山地に生育する。陽樹～中庸樹。適潤地を好む。高温乾燥地には不適。 | | C |
| 71 | バッコヤナギ | 落葉高木 | 山麓や丘陵地などのやや乾いた場所に生育する。陽樹。 | 別名ヤマネコヤナギ | — |
| 72 | ハリギリ | 落葉高木 | 山地の林内に生育する。陽樹。 | 別名センノキ | — |
| 73 | ハルニレ | 落葉高木 | 肥沃な沖積平野又は山麓部に生育する。陽地にも耐える。潮風に強い。 | | C |
| 74 | フサザクラ | 落葉高木 | 谷筋に多く、崩壊地又はやせ地にもよく生育する。陽樹。 | | — |
| 75 | フジキ | 落葉高木 | 山地森林に生育する。陽樹。 | | — |
| 76 | ブナ | 落葉高木 | 土壤の厚い山地に生育する。陽樹。 | | C |
| 77 | ホオノキ | 落葉高木 | 山地に生育する。中庸樹～陽樹。深層土の適湿地を好む。 | | D |
| 78 | マルバアオダモ | 落葉高木 | 浅い山にふつうに生育する。 | 別名ホソバアオダモ | — |
| 79 | ミズキ | 落葉高木 | 陽樹。深層肥沃土を好む。湿地に耐える。 | | — |
| 80 | ミズナラ | 落葉高木 | ブナよりも陽性が強い。陽樹。高温乾燥地には不適。 | | C |
| 81 | ミツデカエデ | 落葉高木 | 山地に生育する。中庸樹～陽樹。 | | — |
| 82 | ムクノキ | 落葉高木 | 向陽適潤地に生育する。陽樹～中庸樹。潮風に耐える。大気汚染に弱い。 | | D |
| 83 | ムクロジ | 落葉高木 | 陽樹。適潤肥沃土を好む。 | | — |
| 84 | メグスリノキ | 落葉高木 | 山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 85 | ヤマグワ | 落葉高木 | 低山地の林内に生育する。陽樹。 | | — |
| 86 | ヤマザクラ | 落葉高木 | 陽樹。大気汚染に弱い。肥沃の深層土を好む。 | | A |
| 87 | ヤマトアオダモ | 落葉高木 | 山地の谷間に生育する。 | 別名オオトネリコ | — |
| 88 | ヤマナラシ | 落葉高木 | 乾いた丘陵地、原野などに生育する。陽樹。風害を受けやすい。 | | — |
| 89 | ヤマハゼ | 落葉高木 | 山地の林内に生育する。陽樹。 | | — |
| 90 | ヤマボウシ | 落葉高木 | 山地に分布する。中庸樹～陽樹。土質を問わない。湿地に耐える。 | 園芸品種に注意 | A |
| 91 | リョウブ | 落葉高木 | 山地の乾いた林内に生育する。陽樹～中庸樹。 | | C |

◆落葉針葉高木

| | | | | | |
|----|------|--------|--|--|---|
| 92 | カラマツ | 落葉針葉高木 | 日当たりの良い山地に自生する。極陽樹。土壤を選ばないが、暑さ及び煙害に弱い。 | | C |
|----|------|--------|--|--|---|

■低木～高木

◆常緑針葉低木～高木

| | | | | | |
|---|----------|-----------|--|--|---|
| 1 | イブキビャクシン | 常緑針葉低木～高木 | 海岸沿いに生育する。陽樹だが多少の日陰地にも耐える。潮風に耐える。乾燥の砂質壤土を好む。 | | — |
|---|----------|-----------|--|--|---|

◆常緑低木～高木

| | | | | | |
|---|------|---------|---------------------------------------|--|---|
| 2 | トベラ | 常緑低木～高木 | 海岸に生育する。陰樹だが陽地に耐える。耐潮性に優れる。大気汚染に強い。 | | A |
| 3 | ヒサカキ | 常緑低木～高木 | やや乾燥した丘陵に生育する。陰樹～中庸樹だが陽光地にも耐える。風に耐える。 | | A |

◆落葉低木～高木

| | | | | | |
|---|--------|---------|--|--|---|
| 4 | アブラチャン | 落葉低木～高木 | 中庸樹。夏の乾燥に弱い。 | | C |
| 5 | カシワ | 落葉低木～高木 | 沿海地や火山の麓など日当たりの良い礫地に生育する。陽樹だがやや陰地にも耐える。耐潮性あり。水湿地にも耐える。 | | D |
| 6 | カワヤナギ | 落葉低木～高木 | 陽樹。河畔に生育する。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|--------|---------|---|----------------|-----|
| 7 | クサギ | 落葉低木～高木 | 中庸樹～陽樹。林縁に生育する。 | | — |
| 8 | タチヤナギ | 落葉低木～高木 | 水辺に生育する。陽樹。 | | — |
| 9 | ダンコウバイ | 落葉低木～高木 | 陽樹～中庸樹。山地の稜線上に生育する。 | | D |
| 10 | ナツグミ | 落葉低木～高木 | 低地からクリ帯山地までに生育する。陽樹。 | | — |
| 11 | ネジキ | 落葉低木～高木 | 丘陵地又は低山地の疎林内又は岩場に生育する。陽樹。 | | — |
| 12 | マンサク | 落葉低木～高木 | 河畔、渓谷又は山地の林内に生育する。中庸樹～陽樹。排水のよいやや湿地が適する。 | 園芸品種・外国産近縁種に注意 | — |

■低木

◆常緑低木

| | | | | | |
|----|----------|------|---|---------|---|
| 1 | アセビ | 常緑低木 | 山地の岩の多い風衝地に生育する。耐陰性、耐寒性、耐乾性がある。 | | A |
| 2 | イヌツゲ | 常緑低木 | 山地の日当たりの良い林縁や草地に生育する。陰樹だが陽地にも耐える。耐寒性があり、大気汚染にも強い。 | | A |
| 3 | イワナンテン | 常緑低木 | 山地の岩場に生育する。 | | — |
| 4 | テリハノイバラ | 常緑低木 | 陽地を好み、海岸からブナ帯の裸地や草原に生育する。陽樹。つる性。 | | — |
| 5 | ネズミモチ | 常緑低木 | 山地に生育する。陰樹だが陽光地にも耐える。土地を選ばず、潮害、大気汚染に強い。 | | A |
| 6 | ハマヒサカキ | 常緑低木 | 海岸に生育する。極陰樹。耐潮性に優れる。 | | A |
| 7 | フユイチゴ | 常緑低木 | 陽樹。地上匍匐性。 | | — |
| 8 | マサキ | 常緑低木 | 海岸近くの林に生育する。陰樹。耐寒性がある。潮風に耐える。 | 園芸品種に注意 | A |
| 9 | マンリョウ | 常緑低木 | 常緑樹林内に生育する。陰樹。耐陰性が強い。排水のよいやや湿地が適する。 | | A |
| 10 | ミヤマシキミ | 常緑低木 | 低山地の林内に生育する。陰樹。 | | D |
| 11 | ミヤマフユイチゴ | 常緑低木 | 中庸樹。 | | — |
| 12 | ヤブコウジ | 常緑低木 | 丘陵地林内に生育する。陰樹。耐陰性がある。 | | A |

◆冬緑低木

| | | | | | |
|----|-------|------|--|---------|---|
| 13 | オニシバリ | 冬緑低木 | | 別名ナツボウズ | — |
|----|-------|------|--|---------|---|

◆半常緑低木

| | | | | | |
|----|--------|-------|----------------------|--|---|
| 14 | オオバイボタ | 半常緑低木 | 海岸近くに生育する。中庸樹。耐潮性あり。 | | — |
|----|--------|-------|----------------------|--|---|

◆落葉低木

| | | | | | |
|----|---------|------|--|---------|---|
| 15 | アキグミ | 落葉低木 | 低地から標高1000m以上の山地までの向陽の場所に産し、河原・海岸にも多い。耐潮性に優れる。 | | B |
| 16 | アズマイバラ | 落葉低木 | 丘陵地又は低山地に産し、乾いた岩のある場所に多い。つるは上に伸びる。 | | — |
| 17 | イヌコリヤナギ | 落葉低木 | 水辺又は湿潤の地に生育する。陽樹。乾燥にも比較的耐える。 | | D |
| 18 | イヌザンショウ | 落葉低木 | 低地の林内に生育する。陽樹。 | | — |
| 19 | イヌビワ | 落葉低木 | 低地の林内に生育する。中庸樹。潮風に耐える。海沿いに生育する。 | | — |
| 20 | イボタノキ | 落葉低木 | 山麓や平地の林縁などに生育する。陽樹～中庸樹。煙害、潮風に強い。 | | — |
| 21 | ウグイスカグラ | 落葉低木 | 山地に生育する。中庸樹。 | | D |
| 22 | ウツギ | 落葉低木 | 路傍、崖など山野の日当たりの良い場所に生育する。陽樹だが陰地に耐える。土地を選ばず、湿地にも耐える。 | 園芸品種に注意 | B |
| 23 | ウリカエデ | 落葉低木 | 低山の林の縁に生育する。陽樹。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|------------|------|------------------------------------|----------------|-----|
| 24 | ウリノキ | 落葉低木 | 山地林内に生育する。 | | — |
| 25 | オトコヨウゾメ | 落葉低木 | 温帶山地林や林縁に生育する。陽樹。 | | — |
| 26 | ガクアジサイ | 落葉低木 | 沿海地の林下や林縁に生育する。陰樹。耐潮性がある。乾燥には耐えない。 | 園芸品種に注意 | A |
| 27 | ガクウツギ | 落葉低木 | 山地の斜面や林下に生育する。 | | — |
| 28 | カジイチゴ | 落葉低木 | 沿海地に分布する。中庸樹だが陽地にも陰地にもやや耐える。耐潮性あり。 | | — |
| 29 | ガマズミ | 落葉低木 | 丘陵地又は山地に生育する。中庸樹。 | | A |
| 30 | カマツカ | 落葉低木 | 丘陵地又は低山地に生育する。陽樹。 | 別名ウシコロシ | — |
| 31 | キブシ | 落葉低木 | 山野の斜面又は疎林中に生育する。陽樹。 | | — |
| 32 | クコ | 落葉低木 | 土手や溝などの荒地に生育する。陽樹。 | | — |
| 33 | クサイチゴ | 落葉低木 | 林地に生育する。中庸樹。 | | — |
| 34 | クサボケ | 落葉低木 | 日当たりの良い丘陵地から山地までに生育する。陽樹。 | 別名シドミ | D |
| 35 | クサボタン | 落葉低木 | 山地の林縁又は草原に生育する。 | | — |
| 36 | クロウメモドキ | 落葉低木 | 山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 37 | クロモジ | 落葉低木 | 陰樹。夏の高温、乾燥に弱い。 | | D |
| 38 | コアジサイ | 落葉低木 | 明るい林内や林縁に生育する。陰樹。 | | — |
| 39 | コウヤボウキ | 落葉低木 | やや乾燥した山地の日当たりの良い場所に生育する。陰樹。 | | — |
| 40 | コクサギ | 落葉低木 | 低地の二次林に生育する。 | | — |
| 41 | コゴメウツギ | 落葉低木 | 低山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 42 | コバノガマズミ | 落葉低木 | 丘陵地や山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 43 | コマツナギ | 落葉低木 | 野原、海岸、土手などの日当たりが良く乾いた場所に生育する。 | | — |
| 44 | サワフタギ | 落葉低木 | 山地の谷間に生育する。 | 別名ルリミノウシコロシ | — |
| 45 | サンショウウ | 落葉低木 | 低山地の林内に生育する。中庸樹。 | | — |
| 46 | シモツケ | 落葉低木 | 山地に生育する。陽樹～中庸樹。乾燥地を好む。 | | B |
| 47 | タマアジサイ | 落葉低木 | 沢沿いの肥沃地や斜面などに生育する。陰樹。 | | — |
| 48 | ツクバネウツギ | 落葉低木 | 標高300mから1000mまでの場所に自生する。陽樹。 | | — |
| 49 | ツリバナ | 落葉低木 | 低山に生育する。陽樹。 | | — |
| 50 | トウゴクミツバツツジ | 落葉低木 | 山地の林内に生育する。 | | — |
| 51 | ナワシロイチゴ | 落葉低木 | 平地から山地までに生育する。陽樹。 | | — |
| 52 | ニガイチゴ | 落葉低木 | 丘陵地、低い山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 53 | ニシキウツギ | 落葉低木 | 山地に分布する。陽樹～中庸樹。 | | — |
| 54 | ニシキギ | 落葉低木 | 山地に生育する。陰樹～中庸樹。 | | B |
| 55 | ニワトコ | 落葉低木 | 低地と山地の藪や林に生育する。中庸樹～陰樹。湿潤肥沃土に適する。 | | — |
| 56 | ノイバラ | 落葉低木 | 低地又は山地に生え、湿地にも生育する。陽樹。つる性。低湿地に耐える。 | | — |
| 57 | ノリウツギ | 落葉低木 | 伐採跡地に出現する。陰樹～中庸樹。耐潮性がある。多少陰湿地を好む。 | 園芸品種に注意 | D |
| 58 | バイカウツギ | 落葉低木 | 中庸樹。半陰に耐える。 | 園芸品種・外国産近縁種に注意 | — |
| 59 | バイカツツジ | 落葉低木 | 山地の林縁に生育する。中庸樹。 | | — |
| 60 | ハコネウツギ | 落葉低木 | 海岸地帯に自生する。陽樹～中庸樹。耐潮性に優れる。 | | C |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|-----------|------|--|---------|-----|
| 61 | ハナイカダ | 落葉低木 | 山地林下に産する。 | | — |
| 62 | バライチゴ | 落葉低木 | 山地に分布する。 | | — |
| 63 | ヒメウツギ | 落葉低木 | 河岸の岩上など日当たりの良い場所に生育する。陽樹。 | | B |
| 64 | ヒメコウゾ | 落葉低木 | 低山地の林縁に生育する。中庸樹。 | | — |
| 65 | フジウツギ | 落葉低木 | 川岸や崩壊地などの荒地に生育する。 | | — |
| 66 | マユミ | 落葉低木 | 山地に生育する。陽樹。 | | C |
| 67 | マルバウツギ | 落葉低木 | 山野の日当たりの良い斜面や河岸などに生育する。陽樹。 | | — |
| 68 | ミツバウツギ | 落葉低木 | 林の縁又は藪に生育する。陽樹。 | | — |
| 69 | ミツバツツジ | 落葉低木 | 山地の林内に生育する。中庸樹。 | | B |
| 70 | ムラサキシキブ | 落葉低木 | 低山地又は平地に生育する。中庸樹。 | | B |
| 71 | メギ | 落葉低木 | 中庸樹～陽樹。土質を問わない。 | | C |
| 72 | モミジイチゴ | 落葉低木 | 陽樹。 | | — |
| 73 | ヤブデマリ | 落葉低木 | 丘陵地又は山地の雑木林、しばしば水の流れに沿って生育する。陽樹。 | | — |
| 74 | ヤブムラサキ | 落葉低木 | 中庸樹。 | | — |
| 75 | ヤマアジサイ | 落葉低木 | 中庸樹。 | 中庸樹 | — |
| 76 | ヤマウグイスカグラ | 落葉低木 | 山地に生育する。陽樹。 | | — |
| 77 | ヤマウコギ | 落葉低木 | 低地の林内に生育する。中庸樹。 | 別名オニウコギ | — |
| 78 | ヤマコウバシ | 落葉低木 | 陽樹。 | | — |
| 79 | ヤマツツジ | 落葉低木 | 低山地の疎林内に生育する。陽樹～中庸樹。耐寒性がある。乾燥を好まない。 | 園芸品種がある | A |
| 80 | ヤマハギ | 落葉低木 | 日当たりの良い山地に生育する。陽樹～中庸樹。半陰に耐える。肥沃壤土質を好む。 | | — |
| 81 | ヤマブキ | 落葉低木 | 低山地又は丘陵地に生育する。中庸樹～陰樹。乾燥地を好みない。 | 園芸品種に注意 | A |
| 82 | ユキヤナギ | 落葉低木 | 山地の河岸岩壁又は岩れき地に生育する。中庸樹～陽樹。 | | A |

■藤本

◆常緑藤本

| | | | | | |
|---|--------|------|-----------------------------------|----------|---|
| 1 | イタビカズラ | 常緑藤本 | 暖地の林内に生育する。陽樹。つる性。 | | C |
| 2 | オオイタビ | 常緑藤本 | 陽樹。つる性。 | | A |
| 3 | キヅタ | 常緑藤本 | 低地に生育する。陰樹だが日射地にも耐える。つる性。 | | C |
| 4 | サネカズラ | 常緑藤本 | 陰樹。つる性。 | 別名ビナンカズラ | — |
| 5 | ツルグミ | 常緑藤本 | 海辺の丘陵地帯によく生育するが、内陸部にも生育する。陽樹。つる性。 | | — |
| 6 | ツルマサキ | 常緑藤本 | 林内に生育する。陰樹。つる性。 | 園芸品種に注意 | A |
| 7 | ティカカズラ | 常緑藤本 | 山野の林に生育する。陰樹～中庸樹。つる性。 | | A |
| 8 | ムベ | 常緑藤本 | 常緑樹林の林縁に生育する。陽樹～中庸樹。つる性。水湿地を好む。 | 別名トキワアケビ | B |

◆半常緑藤本

| | | | | | |
|---|-------|-------|---------|--|---|
| 9 | スイカズラ | 半常緑藤本 | 陽樹。つる性。 | | B |
|---|-------|-------|---------|--|---|

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|----|-----|---------|----|-----|
|-----|----|-----|---------|----|-----|

◆落葉～半常緑藤本

| | | | | | |
|----|-----|----------|---------------------|--|---|
| 10 | アケビ | 落葉～半常緑藤本 | 山野に生育する。陽樹～中庸樹。つる性。 | | C |
|----|-----|----------|---------------------|--|---|

◆落葉藤本

| | | | | | |
|----|---------|------|-----------------------------------|--------|---|
| 11 | イワガラミ | 落葉藤本 | 山林中に生育する。陽樹。つる性。 | | — |
| 12 | エビヅル | 落葉藤本 | 丘陵地又は山地に生育する。陽樹。つる性。 | | — |
| 13 | サルナシ | 落葉藤本 | 陽樹。つる性。 | | — |
| 14 | サンカクヅル | 落葉藤本 | 陽樹。つる性。 | | — |
| 15 | ツタ | 落葉藤本 | 山野に生育する。陽樹～中庸樹。つる性。耐潮性がある。 | 別名ナツヅタ | — |
| 16 | ツルアジサイ | 落葉藤本 | 山地に生育する。陽樹。つる性。乾燥と暑さを嫌い、市街地に不適。 | | D |
| 17 | ツルウメモドキ | 落葉藤本 | 路傍や林縁に生育する。陽樹～中庸樹。つる性。つるが暴れる。 | | D |
| 18 | ノブドウ | 落葉藤本 | 山野に生育する。陽樹。つる性。 | | — |
| 19 | フジ | 落葉藤本 | 低山地や平地の林縁、崖、林中などに生育する。陽樹～中庸樹。つる性。 | | D |
| 20 | マタタビ | 落葉藤本 | 山地の林縁、原野、丘陵地などに群生する。陽樹。つる性。 | | — |
| 21 | マツブサ | 落葉藤本 | 中庸樹。つる性。 | | — |
| 22 | ミツバアケビ | 落葉藤本 | 陽樹～中庸樹。つる性。アケビより耐寒性が強い。 | | — |
| 23 | ミヤママタタビ | 落葉藤本 | 山中に生育する。陽樹。つる性。 | | — |
| 24 | ヤマブドウ | 落葉藤本 | 山地に生育する。陽樹。つる性。 | | — |

■草本

◆多年草～落葉低木

| | | | | | |
|----|-------|----------|-----------------|--|---|
| 25 | マルバハギ | 多年草～落葉低木 | 日当たりの良い山地に生育する。 | | — |
|----|-------|----------|-----------------|--|---|

◆常緑多年草

| | | | | | |
|----|------------|-------|---------------------------------|--|---|
| 1 | イノデ | 常緑多年草 | 平地から低山地まで、疎林の林床、原野又は山麓に生育する。 | | — |
| 2 | イノモトソウ | 常緑多年草 | 人間生活によってかく乱の進んだ環境に生育する。 | | — |
| 3 | イワヒバ | 常緑多年草 | 山地のやや湿った岩上又は岩壁に生育する。着生。 | | — |
| 4 | オオイタチシダ | 常緑多年草 | 内陸部低山地のやや明るい場所に生育する。 | | — |
| 5 | オオバジャノヒグ | 常緑多年草 | 林下に生育する。 | | A |
| 6 | オオバノイノモトソウ | 常緑多年草 | 山地の林床や山麓の林縁などに生育する。 | | — |
| 7 | オオベニシダ | 常緑多年草 | 低山地の林下などに生育する。 | | — |
| 8 | オクマワラビ | 常緑多年草 | 山地の林床や山麓の林縁、村落の路傍や石垣などに生育する。 | | — |
| 9 | オニヤブソテツ | 常緑多年草 | 低地の向陽の地に生育する。 | | C |
| 10 | オモト | 常緑多年草 | 林下に生育する。 | | C |
| 11 | カタヒバ | 常緑多年草 | 山林中の岩上や樹幹に生育する。着生。 | | — |
| 12 | カンアオイ | 常緑多年草 | 山地の林下に生育する。耐陰性に優れる。水はけの良い土壤を好む。 | | C |
| 13 | キチジョウソウ | 常緑多年草 | 林下に生育する。やや湿気のある場所を好む。 | | A |
| 14 | クラマゴケ | 常緑多年草 | 低地や山麓の林床などに生育する。 | | — |
| 15 | コバノヒノキシダ | 常緑多年草 | 向陽の山野又は路傍の岩上・石垣上に生育する。 | | — |
| 16 | ジャノヒグ | 常緑多年草 | 山野の林下に生育する。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|----------|-------|--|----------|-----|
| 17 | シュンラン | 常緑多年草 | 乾いた落葉樹林の林床に生育する。 | | C |
| 18 | スズメノヤリ | 常緑多年草 | 山野の草地で生育する。 | | — |
| 19 | セキショウ | 常緑多年草 | 平地から山地までの溝や小川の縁などに群生する。耐水湿性は大きいが、停滞水は好まない。 | 園芸品種に注意。 | A |
| 20 | タチシノブ | 常緑多年草 | 向陽の山麓又は林縁に生育する。 | | — |
| 21 | ツルデンダ | 常緑多年草 | 山林中のやや湿った岩上又は斜面に生育する。 | | — |
| 22 | ツワブキ | 常緑多年草 | 海岸の岩上やれき地、崖などに生育する。 | | A |
| 23 | トラノオシダ | 常緑多年草 | 低地の山野又は路傍に生育する。 | | — |
| 24 | ナガバジャノヒゲ | 常緑多年草 | 林床や林縁に生育する。 | | — |
| 25 | ノキシノブ | 常緑多年草 | 低山地の林中から村落の陽地までの、樹冠又は岩上で生育する。着生。 | | — |
| 26 | ハカタシダ | 常緑多年草 | 低山地のやや乾いた林中の崖下や林床などに生育する。 | | — |
| 27 | ハコネシダ | 常緑多年草 | やや乾いた林中の岩上又は岩の傍らの地上に生育する。 | | — |
| 28 | ヒメノキシノブ | 常緑多年草 | やや明るい林中の岩上又は樹幹に生育する。着生。 | | — |
| 29 | ヒメヤプラン | 常緑多年草 | 原野の草地又は林下に生育する。 | | — |
| 30 | ビロードシダ | 常緑多年草 | 山中陰地の岩上に生育する。着生。 | | — |
| 31 | フモトシダ | 常緑多年草 | 山麓などのやや乾いた林化に生育する。 | | — |
| 32 | ベニシダ | 常緑多年草 | 低山地の林下や村落の路傍などに生育する。 | | B |
| 33 | ホシダ | 常緑多年草 | 山野や路傍など人為的な環境に生育する。 | | — |
| 34 | ミツデウラボシ | 常緑多年草 | 低山地の岩上や路傍など、比較的乾いた場所に生育する。 | | — |
| 35 | ミヤマカンスゲ | 常緑多年草 | 山地の林内に生育する。 | | — |
| 36 | ミヤマノキシノブ | 常緑多年草 | 山林中の樹冠又は岩上に生育する。着生。 | | — |
| 37 | ヤブソテツ | 常緑多年草 | 山地から村落の路傍までの比較的明るい場所に生育する。 | | — |
| 38 | ヤブラン | 常緑多年草 | 林下に生育する。日陰に強い。 | | A |
| 39 | ヤマイタチシダ | 常緑多年草 | 山地の林床や林縁、村落の路傍又は石垣に生育する。 | | — |
| 40 | リョウメンシダ | 常緑多年草 | 山地の林中のやや湿った場所に生育する。 | | — |

◆冬緑多年草

| | | | | | |
|----|--------|-------|-------------|--|---|
| 41 | サイハイラン | 冬緑多年草 | 山地の林床に生育する。 | | — |
|----|--------|-------|-------------|--|---|

◆多年草

| | | | | | |
|----|----------|-----|--------------------|--|---|
| 42 | アオイスミレ | 多年草 | 丘陵地又は山地に生育する。 | | — |
| 43 | アカシヨウマ | 多年草 | やや明るい林床又は林縁に生育する。 | | — |
| 44 | アカネ | 多年草 | 山野に生育する。 | | — |
| 45 | アカネスマリ | 多年草 | 低地又は丘陵地に生育する。 | | — |
| 46 | アキカラマツ | 多年草 | 山野の日当たりの良い草地に生育する。 | | — |
| 47 | アキノキリンソウ | 多年草 | 日当たりの良い山地に生育する。 | | — |
| 48 | アキノタムラソウ | 多年草 | 山野の疎林又は道端に生育する。 | | — |
| 49 | アシタバ | 多年草 | 海岸に生育する。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|-----------|-----|---------------------------------|---------|-----|
| 50 | アズマヤマアザミ | 多年草 | 山林内に生育する。 | | — |
| 51 | アブラススキ | 多年草 | 丘陵地に生育する。 | | — |
| 52 | アリアケスマレ | 多年草 | 低地のやや湿った場所に生育する。 | | — |
| 53 | イ | 多年草 | 山野の湿地に生育する。 | | — |
| 54 | イチリンソウ | 多年草 | 落葉広葉樹林の林縁又は林床に生育し、ときには草原にも生育する。 | | — |
| 55 | イヌガンソク | 多年草 | 山地の林下や村落の路傍などに生育する。 | | — |
| 56 | イヌゴマ | 多年草 | 湿地に生育する。 | | — |
| 57 | イヌシダ | 多年草 | 人家近くなどの向陽の地で岩隙や粘土質の堤などに生育する。 | | — |
| 58 | イヌショウマ | 多年草 | 山地の林中に生育する。 | | — |
| 59 | イヌワラビ | 多年草 | 都会地から山地までに生育する。 | | — |
| 60 | イワガネゼンマイ | 多年草 | 山地林下に生育する。 | | — |
| 61 | イワガネソウ | 多年草 | 山地林下に生育する。 | | — |
| 62 | イワギボウシ | 多年草 | 山中の湿った樹上又は岩上に生育する。 | 園芸品種に注意 | — |
| 63 | イワキンバイ | 多年草 | 山地の岩上に生育する。 | | — |
| 64 | イワタバコ | 多年草 | 日陰の岩壁などに生育する。 | | — |
| 65 | イワデンダ | 多年草 | 向陽の山麓などの岩上や石垣などに生育する。着生。 | | — |
| 66 | ウツボグサ | 多年草 | 山野の草地に生育する。 | | — |
| 67 | ウド | 多年草 | 山野に生育する。 | | — |
| 68 | ウバユリ | 多年草 | 山野の林又は湿性地に生育する。 | | — |
| 69 | ウマノアシガタ | 多年草 | 日当たりの良い路傍の草むらに生育する。 | | — |
| 70 | ウラシマソウ | 多年草 | 平地から低山地までの野原、林縁又は林中に生育する。 | | — |
| 71 | ウラハグサ | 多年草 | 山地、溪流沿い又は崖地に生育する。 | 園芸品種に注意 | D |
| 72 | ウワバミソウ | 多年草 | 山地の水湿斜面に群生する。 | | — |
| 73 | エイザンスマレ | 多年草 | 山地の木陰に生育する。 | | — |
| 74 | エンレイソウ | 多年草 | 山地の林内のやや湿った場所に生育する、 | | — |
| 75 | オオジシバリ | 多年草 | 路傍又は畦道の粘土質の場所に生育する。 | | — |
| 76 | オオバギボウシ | 多年草 | 山野の草地や林内などにはえる。 | 園芸品種に注意 | B |
| 77 | オオバコ | 多年草 | 日当たりの良い道端又は荒地に生育する。踏跡植物。 | | — |
| 78 | オオバタネツケバナ | 多年草 | 原野の水湿地又は川辺に生育する。 | | — |
| 79 | オオハナワラビ | 多年草 | 山地林中のやや湿った場所に生育する。 | | — |
| 80 | オカトラノオ | 多年草 | 丘陵の日当たりの良い草原に生育する。 | | — |
| 81 | オガルカヤ | 多年草 | 丘陵地の草原又は堤防に生育する。 | | — |
| 82 | オギ | 多年草 | 水辺、池畔の湿地に群生する。 | | — |
| 83 | オシダ | 多年草 | 温帯林の林床又は針葉樹林下に生育する。 | | — |
| 84 | オトギリソウ | 多年草 | 日当たりの良い山野に生育する。 | | — |
| 85 | オトコエシ | 多年草 | 山野又は荒地に生育する。 | | — |
| 86 | オトコヨモギ | 多年草 | ススキ草原又は河原に生育する。 | | — |
| 87 | オドリコソウ | 多年草 | 藪陰又は道端の半日陰・竹林下に群生する。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|----------|-----|--------------------------------------|----|-----|
| 88 | オヘビイチゴ | 多年草 | 原野又は田畠の畦道などやや湿った場所に生育する。 | | — |
| 89 | オモダカ | 多年草 | 水田又は浅い池に生育する。 | | — |
| 90 | ガガイモ | 多年草 | 原野に生育する。つる性。 | | — |
| 91 | カキドオシ | 多年草 | 道端などの草地に生育する。 | | — |
| 92 | カサスゲ | 多年草 | 平地の湿地又は浅水中に生育する。 | | — |
| 93 | カシワバハグマ | 多年草 | 山地の乾いた木陰に生育する。 | | — |
| 94 | カゼクサ | 多年草 | 堤防又は路傍などに生育する。 | | — |
| 95 | カタバミ | 多年草 | 道端又は耕地に生育する。 | | — |
| 96 | カニクサ | 多年草 | 山麓又は原野など人里近くに生育する。 | | — |
| 97 | カノツメソウ | 多年草 | 山林下に生育する。 | | — |
| 98 | ガマ | 多年草 | 湿地に生育する。 | | — |
| 99 | カモジグサ | 多年草 | 平地の草原又は道端の堤防に生育する。 | | — |
| 100 | カラスウリ | 多年草 | つる性。雌雄異株植物。 | | — |
| 101 | カラスピシャク | 多年草 | 畑に生育する。 | | — |
| 102 | カラハナソウ | 多年草 | 山地に生育する。つる性。 | | — |
| 103 | カラムシ | 多年草 | 原野又は人家の付近によく生育する。 | | — |
| 104 | カワラヨモギ | 多年草 | 海岸又は川岸の砂地に生育する。 | | — |
| 105 | カンスゲ | 多年草 | 山地の林内に生育する。 | | A |
| 106 | カントウタンボポ | 多年草 | 野原又は道端などに生育する。 | | — |
| 107 | カントウヨメナ | 多年草 | 田の畔や川べりなどに生育する。 | | — |
| 108 | キカラスウリ | 多年草 | つる性。 | | — |
| 109 | ギシギシ | 多年草 | 原野又は道端の湿地によく生育する。畑地雑草であり、植栽には注意を要する。 | | — |
| 110 | キジムシロ | 多年草 | 平地又は日当たりの良い山地に生育する。 | | — |
| 111 | キッコウハグマ | 多年草 | 山地のやや乾いた木陰に生育する。 | | — |
| 112 | キツネノボタン | 多年草 | 溝の縁や田の畔など、日当たりの良い湿った草地に生育する。 | | — |
| 113 | ギョウギシバ | 多年草 | 日当たりの良い場所又は海岸の草地に生育する。 | | — |
| 114 | キランソウ | 多年草 | 路傍や山麓などの岩の多い草地に生育する。 | | — |
| 115 | キリンソウ | 多年草 | 山地草原、林縁、崖、海岸などに生育する。 | | — |
| 116 | キンミズヒキ | 多年草 | 低地又は山地のいたる場所に生育する。 | | — |
| 117 | クサアジサイ | 多年草 | やや湿った林床又は岩上に生育する。 | | — |
| 118 | クサコアカゾ | 多年草 | 山野のやや湿った場所に生育する。 | | — |
| 119 | クサソテツ | 多年草 | 山地の明るい草原又は湿地によく生育する。 | | A |
| 120 | クサヨシ | 多年草 | 低地の水辺又は湿地に群生する。 | | — |
| 121 | クジャクシダ | 多年草 | 山地林下の地上又は岩上に生育する。 | | — |
| 122 | クマツヅラ | 多年草 | 山野の道端に生育する。 | | — |
| 123 | クララ | 多年草 | 日当たりの良い山地の草地、川原などに生育する。 | | — |
| 124 | クログワイ | 多年草 | 池溝中に生育する。かつては水田雑草であり、植栽には注意を要する。 | | — |
| 125 | クワガタソウ | 多年草 | 林中に生育する。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|------------|-----|---------------------------------------|---------|-----|
| 126 | ゲジゲジシダ | 多年草 | 低地の山野に生育する。 | | — |
| 127 | ゲンノショウコ | 多年草 | 山野の草むらに生育する。 | | — |
| 128 | コウヤワラビ | 多年草 | 山麓や低山地、村落近くなどで日当たりが良く、湿っぽい田の畔などに生育する。 | | — |
| 129 | コガマ | 多年草 | 湿地に生育する。 | | — |
| 130 | コスマレ | 多年草 | 低地又は丘陵地に生育する。 | | — |
| 131 | コナスピ | 多年草 | 低地から山地までの道端又は草原に生育する。 | | — |
| 132 | コバギボウシ | 多年草 | 日当たりの良い湿地に生育する。 | 園芸品種に注意 | — |
| 133 | コバノタツナミ | 多年草 | 多くは海岸近くに生育する。 | | — |
| 134 | コヒルガオ | 多年草 | 日当たりの良い野原に生育する。 | | — |
| 135 | サワヒヨドリ | 多年草 | 日当たりの良い湿地に生育する。 | | — |
| 136 | サンカクイ | 多年草 | 池や川のほとりなどの湿地によく生育する。 | | — |
| 137 | シオデ | 多年草 | 山野に生育する。つる性。増えすぎることがあるので、植栽には注意を要する。 | | — |
| 138 | シケシダ | 多年草 | 低山地の流れに近い湿った場所に生育する。 | | — |
| 139 | ジシバリ | 多年草 | 日当たりの良い山野の裸地に生育する。畑地雑草であり、植栽には注意を要する。 | | — |
| 140 | シバ | 多年草 | 日当たりの良い草地に生育する。 | | — |
| 141 | シモバシラ | 多年草 | 山の木陰に生育する。 | | — |
| 142 | ジュウニヒトエ | 多年草 | やや乾いた丘陵地に生育する。 | | — |
| 143 | ジュウモンジシダ | 多年草 | 山地の林床に生育する。 | | — |
| 144 | シラネセンキュウ | 多年草 | 山地の日陰に生育する。 | | — |
| 145 | シラヤマギク | 多年草 | 山地の乾草原又は道端に生育する。 | | — |
| 146 | シロイトスグ | 多年草 | 丘陵から低山地までの落葉広葉樹林内に生育する。 | | — |
| 147 | シロバナエンレイソウ | 多年草 | 山地の林下に生育する。 | | — |
| 148 | ジロボウエンゴサク | 多年草 | 川岸など低地の草原に生育する。 | | — |
| 149 | シロヨメナ | 多年草 | 山林の縁又は山道に生育する。 | | — |
| 150 | スイバ | 多年草 | 野原又は人家近くに多い。 | | — |
| 151 | スギナ | 多年草 | 山野、路傍、市街地などに生育する。 | | — |
| 152 | ススキ | 多年草 | 平地から山地までの陽地に生育する。 | 園芸品種に注意 | D |
| 153 | スマレ | 多年草 | 低地又は丘陵地に生育する。 | | — |
| 154 | セキヤノアキチョウジ | 多年草 | 山の木陰に生育する。 | | — |
| 155 | セリ | 多年草 | 湿地や溝又は水田などに生育する。 | | — |
| 156 | セントウソウ | 多年草 | 森林下に生育する。 | | — |
| 157 | センニンソウ | 多年草 | 日当たりの良い道端の低木林又は林縁に生育する。つる性。汁に毒性あり。 | | — |
| 158 | センボンヤリ | 多年草 | 山地又は丘陵に生育する。 | | — |
| 159 | ゼンマイ | 多年草 | 平地から山地までの林下に生育する。 | | — |
| 160 | ソクズ | 多年草 | 人家の付近に生育する。 | | — |
| 161 | タイアザミ | 多年草 | 山野に生育する。 | | — |
| 162 | ダイコンソウ | 多年草 | 丘陵地、山地の林下や谷川の縁などに生育する。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|-------------|-----|------------------------------------|----|-----|
| 163 | タイトゴメ | 多年草 | 海岸の岩上に生育する。 | | — |
| 164 | タカトウダイ | 多年草 | 丘陵地又は山地の草地に生育する。 | | — |
| 165 | タガネソウ | 多年草 | 山地の林内に生育する。 | | — |
| 166 | タケニグサ | 多年草 | 日当たりの良い荒地に生育する。 | | — |
| 167 | タチツボスミレ | 多年草 | 低地や山地に生育する。 | | — |
| 168 | タツナミソウ | 多年草 | 丘陵地の半日陰に生育する。 | | — |
| 169 | タニタデ | 多年草 | 山地の林下に生育する。 | | — |
| 170 | チカラシバ | 多年草 | 道端又は草原などに生育する。 | | — |
| 171 | チゴザサ | 多年草 | 湿地又は水辺に生育する。 | | — |
| 172 | チゴユリ | 多年草 | 山野の林下に生育する。地下茎で増え、コロニーは移動する。 | | — |
| 173 | ツボスミレ | 多年草 | 平地、丘陵地または山地でよく生育し、水湿のある場所に好んで生育する。 | | — |
| 174 | ツリガネニンジン | 多年草 | 山野又は高原に生育する。 | | — |
| 175 | ツルナ | 多年草 | 海岸の砂地に生育する。食用になる。 | | — |
| 176 | ツルニンジン | 多年草 | 山麓の林下に生育する。つる性。 | | — |
| 177 | ツルフジバカマ | 多年草 | 山地の草原若しくは道端又は海岸の林縁に生育する。つる性。 | | — |
| 178 | ツルボ | 多年草 | 山野の日当たりの良い場所に生育する。 | | — |
| 179 | ツルヨシ | 多年草 | 川岸又は砂質地に生育する。 | | — |
| 180 | テバコモミジガサ | 多年草 | 山地の木陰に生育する。 | | — |
| 181 | テンニンソウ | 多年草 | 落葉樹林内又は山の草地に大群落をつくる。 | | — |
| 182 | トウオオバコ | 多年草 | 海近くの草地に生育する。 | | — |
| 183 | トキリマメ | 多年草 | 低山地の林縁で生育する。つる性。 | | — |
| 184 | ドクダミ | 多年草 | 日陰に群生する。増えすぎることがあるので、管理が必要となる。 | | — |
| 185 | トダシバ | 多年草 | 平地から山地の日当たりの良い場所に生育する。 | | — |
| 186 | ナガバノスマレサイシン | 多年草 | 山地の林下に生育する。 | | — |
| 187 | ナキリスゲ | 多年草 | 平地の疎林に生育する。 | | — |
| 188 | ナツトウダイ | 多年草 | 丘陵地又は山地に生育する。 | | — |
| 189 | ナルコユリ | 多年草 | 山野の林下に生育する。 | | — |
| 190 | ナンテンハギ | 多年草 | 山野に生育する。 | | — |
| 191 | ニオイタチツボスミレ | 多年草 | 丘陵地又は山地に生育する。 | | — |
| 192 | ニガナ | 多年草 | 山野の草原に生育する。 | | — |
| 193 | ヌカボ | 多年草 | 平地又は丘陵地に生育する。 | | — |
| 194 | ヌスピトハギ | 多年草 | 平地から山地までの草地、林縁、道端などに生育する。 | | — |
| 195 | ネコハギ | 多年草 | 平地、丘陵地又は低山地の道端又は乾いた草地に生育する。 | | — |
| 196 | ネジバナ | 多年草 | 日当たりの良い草地・芝生に生育する。 | | — |
| 197 | ノアザミ | 多年草 | 山野に生育する。 | | — |
| 198 | ノガリヤス | 多年草 | 丘陵地又は山地の日当たりの良い草地、藪などに生育する。 | | — |
| 199 | ノカンゾウ | 多年草 | 溝の縁又は野原に生育する。 | | — |
| 200 | ノコンギク | 多年草 | 日当たりの良い山野に生育する。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|-----------|-----|--|----|-----|
| 201 | ノササゲ | 多年草 | 山地の林縁などに生育する。つる性。 | | — |
| 202 | ノジスミレ | 多年草 | 低地の日当たりの良い場所に生育する。 | | — |
| 203 | ノダケ | 多年草 | 山野に生育する。 | | — |
| 204 | ノハラアザミ | 多年草 | 乾いた草原に生育する。 | | — |
| 205 | ノビル | 多年草 | 原野又は道端に生育する。 | | — |
| 206 | ハチジョウススキ | 多年草 | 海岸に生育する。 | | — |
| 207 | ハッカ | 多年草 | 湿地又は溝の縁の草地に生育する。 | | — |
| 208 | ハマエンドウ | 多年草 | 海岸などの砂地の草原に生育する。 | | — |
| 209 | ハマカンゾウ | 多年草 | 海岸の日当たりの良い斜面に多い。 | | — |
| 210 | ハマヒルガオ | 多年草 | 海岸又は湖岸の砂地に生育する。耐潮性に優れる。 | | — |
| 211 | ヒカゲスゲ | 多年草 | 疎林地の斜面などに生育する。 | | — |
| 212 | ヒゴクサ | 多年草 | 丘陵地又は山地の林内に生育する。 | | — |
| 213 | ヒトリシズカ | 多年草 | 林中に生育する。 | | — |
| 214 | ヒナスマレ | 多年草 | 山地の林下に生育する。産地が限られているので、苗の取り扱いに注意を要する。 | | — |
| 215 | ヒメウズ | 多年草 | 人里に近い山裾、道端の草むら又は石垣の間に生育する。 | | — |
| 216 | ヒメガマ | 多年草 | 湿地に生育する。 | | — |
| 217 | ヒメキンミズヒキ | 多年草 | 山地、丘陵地の林下又は溪側などに生育する。 | | — |
| 218 | ヒメシダ | 多年草 | 向陽の湿地又は沼沢地に群生する。 | | — |
| 219 | ヒメスマレ | 多年草 | 人家近くによく生育する。 | | — |
| 220 | ヒメワラビ | 多年草 | 低地の向陽の地又は村落内に生育する。 | | — |
| 221 | ヒヨドリジョウゴ | 多年草 | 野原、丘陵又は人家近くによく生育する。つる性。 | | — |
| 222 | ヒヨドリバナ | 多年草 | 山地に生育する。 | | — |
| 223 | ヒルガオ | 多年草 | 野原又は道端の草地に生育する。 | | — |
| 224 | フキ | 多年草 | 山地の路傍に生育する。 | | — |
| 225 | フクロシダ | 多年草 | 山林中や林縁、路傍などの岩上に生育する。着生。好石灰岩植物。 | | — |
| 226 | フジカンゾウ | 多年草 | 平地から低山地までにかけての林下に生育する。 | | — |
| 227 | フタバアオイ | 多年草 | 山地の樹陰に生育する。 | | — |
| 228 | フタリシズカ | 多年草 | 林中に生育する。 | | — |
| 229 | フトイ | 多年草 | 平地や山地の池沼などの浅水中に生育する。 | | — |
| 230 | フユノハナワラビ | 多年草 | 向陽の山地や原野、路傍などに生育する。 | | — |
| 231 | ヘビイチゴ | 多年草 | 日当たりの良い湿った草地に生育する。 | | — |
| 232 | ヘビノネゴザ | 多年草 | 明るい林中から向陽地の泥のたまつた岩上や石のごろごろした地上などに生育する。 | | — |
| 233 | ホウチャクソウ | 多年草 | 丘陵又は原野の林下に生育する。 | | — |
| 234 | ホタルブクロ | 多年草 | 山野又は丘陵に生育する。 | | — |
| 235 | マツカゼソウ | 多年草 | 山地に生育する。 | | — |
| 236 | マムシグサ | 多年草 | 平地から山地までの野原、林縁、林下などに生育する。 | | — |
| 237 | マルバスミレ | 多年草 | 丘陵地又は山地に生育する。 | | — |
| 238 | マルミノヤマゴボウ | 多年草 | 山地に生育する。 | | — |

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|----------|-----|--------------------------------------|----|-----|
| 239 | ミズタマソウ | 多年草 | 山地の林下に生育する。 | | — |
| 240 | ミズヒキ | 多年草 | 山地又は低地の林縁又は藪によく生育する。 | | — |
| 241 | ミヅカクシ | 多年草 | 田の畔又は溝ぎわなどの湿った場所に生育する。 | | — |
| 242 | ミヅシダ | 多年草 | 森林中から向陽の人里までのやや湿っぽい場所に生育する。 | | — |
| 243 | ミソハギ | 多年草 | 山野の湿地に生育する。 | | B |
| 244 | ミヅホオズキ | 多年草 | 山中の水湿地に生育する。 | | — |
| 245 | ミツバ | 多年草 | 山地の木陰などに生育する。 | | — |
| 246 | ミツバツチグリ | 多年草 | 平地又は丘陵地に生育する。 | | — |
| 247 | ミドリヒメワラビ | 多年草 | 村落近くの疎林中や向陽の林縁、路傍などに生育する。 | | — |
| 248 | ミミナグサ | 多年草 | 田畠や道端などに生育する。 | | — |
| 249 | ミヤコグサ | 多年草 | 道端、鉄道線路又は海岸などに生育する。 | | — |
| 250 | ムラサキサギゴケ | 多年草 | やや湿気のある田のあぜなどに生育する。 | | — |
| 251 | ムラサキニガナ | 多年草 | 山林の縁に生育する。 | | — |
| 252 | メドハギ | 多年草 | 日当たりの良い草地、荒地、川原、土手など平地から低山地までに生育する。 | | — |
| 253 | モミジガサ | 多年草 | 山地の適湿の木陰に生育する。 | | — |
| 254 | ヤグルマソウ | 多年草 | 山地の主に谷沿いの林床に生育する。 | | — |
| 255 | ヤブカンゾウ | 多年草 | 溝の縁や野原に生育するが、人家の近くによく生育する。肥沃な適潤地を好む。 | | C |
| 256 | ヤブヘビイチゴ | 多年草 | 半日陰に生育する。 | | — |
| 257 | ヤブマオ | 多年草 | 山野に生育する。 | | — |
| 258 | ヤブミョウガ | 多年草 | 暖地の林下に生育する。 | | — |
| 259 | ヤブレガサ | 多年草 | 林下の斜面などに生育する。 | | — |
| 260 | ヤマイヌワラビ | 多年草 | 山地林下に生育する。 | | — |
| 261 | ヤマエンゴサク | 多年草 | 山中の樹林地に生育する。 | | — |
| 262 | ヤマスズメノヒエ | 多年草 | 山地の草原に生育する。 | | — |
| 263 | ヤマゼリ | 多年草 | 山地に生育する。 | | — |
| 264 | ヤマヌカボ | 多年草 | 山地の林中に生育する。 | | — |
| 265 | ヤマノイモ | 多年草 | 山野に生育する。つる性。 | | — |
| 266 | ヤマハタザオ | 多年草 | 山野に生育する。 | | — |
| 267 | ヤマハッカ | 多年草 | 山地の林縁に生育する。 | | — |
| 268 | ヤマブキショウマ | 多年草 | 山地に生育する。 | | — |
| 269 | ヤマホタルブクロ | 多年草 | 山地に生育する。 | | — |
| 270 | ヤマホトトギス | 多年草 | 山地の林下に生育する。 | | — |
| 271 | ヤマユリ | 多年草 | 山地又は丘陵に生育する。夏の直射光や乾燥を嫌う。 | | D |
| 272 | ユウガギク | 多年草 | 山地の湿った草原や道端に生育する。 | | — |
| 273 | ユキザサ | 多年草 | 山地の林下に生育する。 | | — |
| 274 | ユキノシタ | 多年草 | 陰湿な岩上に群生する。湿気のある場所を好む。 | | A |
| 275 | ユリワサビ | 多年草 | 山間の渓流のほとりに生育する。 | | — |
| 276 | ヨシ | 多年草 | 湿地に群生する。 | | — |

【リスト A】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|---------|-----|--------------------------|----|-----|
| 277 | ヨツバヒヨドリ | 多年草 | 山地に生育する。 | | — |
| 278 | ヨモギ | 多年草 | 山野に生育する。緑化用の外国産種子に注意が必要。 | | — |
| 279 | リュウノウギク | 多年草 | 日当たりの良い山地の崖に生育する。 | | — |
| 280 | リンドウ | 多年草 | 山野に生育する。 | | — |
| 281 | ワサビ | 多年草 | 深山の澄んだ溪流に生育する。 | | — |
| 282 | ワラビ | 多年草 | 日当たりの良い原野又はまばらな林中に生育する。 | | — |
| 283 | ワレモコウ | 多年草 | 日当たりの良い丘又は山地の草原に生育する。 | | — |

◆2年草

| | | | | | |
|-----|-----------|-----|--------------------------|--|---|
| 285 | アキノノゲシ | 2年草 | 日当たりの良い荒地又は草地に生育する。 | | — |
| 286 | オニルリソウ | 2年草 | 山地に生育する。 | | — |
| 287 | キツネアザミ | 2年草 | 道端又は田畠に生育する。 | | — |
| 288 | クサノオウ | 2年草 | 低地の日当たりの良い草地や荒地に生育する。 | | — |
| 289 | コウゾリナ | 2年草 | 山野の草地や道端などに生育する。 | | — |
| 290 | コモチマンネングサ | 2年草 | 畑の縁や路傍などに生育する。 | | — |
| 291 | トウダイグサ | 2年草 | 路傍又は畠地に生育する。 | | — |
| 292 | フシグロ | 2年草 | 低地から山地までの日当たりの良い場所に生育する。 | | — |
| 293 | フデリンゴウ | 2年草 | 日当たりの良い山野に生育する。 | | — |
| 294 | ミドリハコベ | 2年草 | 道端又は畠などに生育する。 | | — |
| 295 | ミヤマキケマン | 2年草 | 山地の日当たりの良い草地に生育する。 | | — |
| 296 | ムラサキケマン | 2年草 | 低地の林縁などに生育する。 | | — |
| 297 | メハジキ | 2年草 | 道端又は荒地に生育する。 | | — |

◆1～多年草

| | | | | | |
|-----|--------|-------|--------------------------|--|---|
| 298 | コケオトギリ | 1～多年草 | 山地に分布する。 | | — |
| 299 | スペリヒユ | 1～多年草 | 畠地や市街地など、日当たりの良い場所に生育する。 | | — |

◆1～2年草

| | | | | | |
|-----|-----------|-------|---------------------------|--|---|
| 300 | カズノコグサ | 1～2年草 | 水湿地、特に水田跡地などに生育する。 | | — |
| 301 | コツブキンエノコロ | 1～2年草 | 草地に生育する。 | | — |
| 302 | スズメノカタビラ | 1～2年草 | 平地、日当たりの良い畠又は人家の周辺に生育する。 | | — |
| 303 | タネツケバナ | 1～2年草 | 荒地や道端に生育する。 | | — |
| 304 | ナズナ | 1～2年草 | 平地によく生育し、道端などに生育する。 | | — |
| 305 | ヤクシソウ | 1～2年草 | 日当たりの良い山地のやや乾いた場所によく生育する。 | | — |
| 306 | ヤマニガナ | 1～2年草 | 山地の林の縁や草原に生育する。 | | — |

◆1年草

| | | | | | |
|-----|------|-----|-------------|--|---|
| 307 | アオミズ | 1年草 | 湿った場所に生育する。 | | — |
|-----|------|-----|-------------|--|---|

【リストA】東京都本土部における植栽のための在来種リスト

| No. | 種名 | 生活型 | 生育環境・特性 | 備考 | 生産量 |
|-----|-------------|-----|--|---------|-----|
| 308 | アキノウナギツカミ | 1年草 | 水辺又は溝によく生育する。 | | — |
| 309 | イヌタデ | 1年草 | 道端又は原野によく生育する。 | | — |
| 310 | イボクサ | 1年草 | 湿地又は水辺に生育する。 | | — |
| 311 | エノコログサ | 1年草 | 日当たりの良い畑地又は荒地に生育する。 | | — |
| 312 | オカヒジキ | 1年草 | 海岸の砂れき地に生育する。 | | — |
| 313 | カナムグラ | 1年草 | 人里近くに生育する。つる性。史前帰化植物であり、花粉症を引き起こすため植栽には注意を要する。 | | — |
| 314 | カラスノゴマ | 1年草 | 畑又は道端に生育する。 | | — |
| 315 | キツネノマゴ | 1年草 | 路傍又は林縁に生育する。 | | — |
| 316 | キツリフネ | 1年草 | 山中の湿地に生育する。 | | — |
| 317 | キンエノコロ | 1年草 | 草地に生育する。 | | — |
| 318 | コシオガマ | 1年草 | 低地又は河原の日当たりの良い草地に生育する。半寄生植物。 | | — |
| 319 | コナギ | 1年草 | 水田又は池に生育する。 | | — |
| 320 | コミカンソウ | 1年草 | 耕地又は路傍に生育する。植栽には、類似種である外来種のナガエコミカンソウに注意が必要である。 | | — |
| 321 | シロザ | 1年草 | 荒地又は原野に多い。 | | — |
| 322 | スズメウリ | 1年草 | 原野又は水辺に生育するつる植物。 | | — |
| 323 | タニソバ | 1年草 | 原野又は山地の日陰又は湿地に生育する。 | | — |
| 324 | ツユクサ | 1年草 | 道端又は草地などに多く生育する。 | | — |
| 325 | ツルマメ | 1年草 | 日当たりの良い平地の野原又は道端に生育する。つる性。 | | — |
| 326 | ナギナタコウジュ | 1年草 | 山地の道端に生育する。 | | — |
| 327 | ナンバンギセル | 1年草 | 山野に生育する。通常ススキに寄生する。 | | — |
| 328 | ニワホコリ | 1年草 | 日当たりが良い荒地、畑地などに生育する。 | | — |
| 329 | フトボナギナタコウジュ | 1年草 | 山地の道端に生育する。 | | — |
| 330 | ママコノシリヌグイ | 1年草 | 道端又は山野の林下に生育する。刺がある。 | | — |
| 331 | ミヅソバ | 1年草 | 水湿地に生育する。 | | — |
| 332 | ヤナギタデ | 1年草 | 水湿地に生育する。 | 栽培品種に注意 | — |
| 333 | ヤブツルアズキ | 1年草 | 川岸の草地などに生育する。 | | — |
| 334 | ヤマミズ | 1年草 | 山地に生育する。 | | — |
| 335 | レモンエゴマ | 1年草 | 山野の半日陰に生育する。 | | — |

【リストB】

「特定外来生物リスト」

ここでは、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（外来生物法）の規制対象となる「特定外来生物」のリスト（平成25年3月末時点）を示します。

※特定外来生物は今後も追加されるため、最新の特定外来生物を参考にしてください。

【リストB】特定外来生物リスト

| No. | 種名 | 学名 | 備考 |
|-----|------------------------------|------------------------------------|----|
| 1 | アゾラ・クリスターク (アメリカオオアカウキクサ) | <i>Azolla cristata</i> | |
| 2 | アレチウリ | <i>Sicyos angulatus</i> | |
| 3 | オオカワヂシャ | <i>Veronica anagallis-aquatica</i> | |
| 4 | オオキンケイギク | <i>Coreopsis lanceolata</i> | |
| 5 | オオハンゴンソウ | <i>Rudbeckia laciniata</i> | |
| 6 | オオフサモ | <i>Myriophyllum brasiliense</i> | |
| 7 | スペルティナ・アングリカ | <i>Spartina anglica</i> | |
| 8 | ナガエツルノゲイトウ | <i>Alternanthera philoxeroides</i> | |
| 9 | ナルトサワギク | <i>Senecio paludosus</i> | |
| 10 | ブラジルチドメグサ | <i>Hydrocotyle ranunculoides</i> | |
| 11 | ボタンウキクサ | <i>Pistia stratiotes</i> | |
| 12 | ミズヒマワリ | <i>Gymnocoronis spilanthoides</i> | |
| | 12種 | | |

【リスト C】

「要注意外来生物リスト」

ここでは、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(外来生物法)の特定外来生物に指定されてはいないが、植栽を行うと、その地域の生態系に悪影響を及ぼすおそれがあるとされる「要注意外来生物のリスト」(平成25年3月末時点)を示します。

※要注意外来生物はその特性から大きく次の4つのカテゴリーに区分することができ、植物は(1)・(2)・(4)の3区分が該当します。また、緑化植物選定に当たっては、特に(4)に留意が必要です。

(1) 被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

専門家会合等において、生態系等に対する被害があるかそのおそれがあるとされ、指定に伴う大量遺棄のおそれなどの生物ごとの様々な課題があることから、現時点で外来生物法に基づく特定外来生物等の指定対象となっていないもの。今後も特定外来生物の指定の適否について検討することとしている。

(2) 被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

専門家会合等においても生態系等に対する被害のおそれ等が指摘されているが、文献等の被害に関する科学的な知見が不足しているもの。引き続き情報の集積に努め、その状況を踏まえて指定の必要性について引き続き検討するとともに、利用に当たっての注意を呼びかけていく必要があるとされた外来生物

(3) 選定の対象とならないが注意喚起が必要な外来生物（他法令の規制対象種）

他法令による規制があることから、外来生物法に基づく特定外来生物や未判定外来生物の選定の対象とはならないが、特に利用に当たっての注意喚起が必要な外来生物。現在植物防疫法の規制対象となっている4種の外来生物が選定されている。

(4) 別途総合的な取組みを進める外来生物（緑化植物）

緑化に用いられる外来植物は、災害防止のための法面緑化など様々な場で用いられることから、被害の発生構造の把握と併せて代替的な植物の入手可能性や代替的な緑化手法の検討等を含めて環境省、農林水産省及び国土交通省の3省が連携して総合的な取組みについて検討をすすめることとしている。

(環境省HPより一部を抜粋して引用)

※なお、環境省が平成25年度現在検討中の「侵略的外来種リスト（仮称）」が公表された後は、そちらを参考にしてください。

【リストC】要注意外来生物リスト

(1) 被害に係る一定の知見があり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

専門家会合等において、生態系等に対する被害があるかそのおそれがあるとされ、指定に伴う大量遺棄のおそれなどの生物ごとの様々な課題があることから、現時点で外来生物法に基づく特定外来生物等の指定対象となっていないもの。今後も特定外来生物の指定の適否について検討することとしている。

| No. | 種名 | 学名 | 備考 |
|-----|------------|-----------------------------|----|
| 1 | オオブタクサ | <i>Ambrosia trifida</i> | |
| 2 | セイタカアワダチソウ | <i>Solidago altissima</i> | |
| 3 | オオカナダモ | <i>Egeria densa</i> | |
| 4 | コカナダモ | <i>Elodea nuttallii</i> | |
| 5 | ホテイアオイ | <i>Eichhornia crassipes</i> | |
| | 5種 | | |

(2) 被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

専門家会合等においても生態系等に対する被害のおそれ等が指摘されているが、文献等の被害に関する科学的な知見が不足しているもの。引き続き情報の集積に努め、その状況を踏まえて指定の必要性について引き続き検討するとともに、利用に当たっての注意を呼びかけていく必要があるとされた外来生物

| No. | 種名 | 学名 | 備考 |
|-----|---------------|---------------------------------|-------------|
| 1 | フランスカイガンショウ | <i>Pinus pinaster</i> | |
| 2 | モリシマアカシア | <i>Acacia mearnsii</i> | |
| 3 | サンショウモドキ | <i>Schinus terebinthifolius</i> | |
| 4 | カユブテ | <i>Melaleuca quinquenervia</i> | |
| 5 | アカキナノキ | <i>Cinchona pubescens</i> | |
| 6 | カエンボク | <i>Spathodea campanulata</i> | |
| 7 | ヤツデグワ | <i>Cecropia peltata</i> | |
| 8 | テリハバンジロウ | <i>Psidium littorale</i> | |
| 9 | モレラ・ファヤ | <i>Morella faya</i> | |
| 10 | キミノヒマラヤキイチゴ | <i>Rubus ellipticus</i> | |
| 11 | ミモザ・ピグラ | <i>Mimosa pigra</i> | |
| 12 | プロソピス・グランドウロサ | <i>Prosopis glandulosa</i> | 一部文献ではメスキート |
| 13 | ハリエニシダ | <i>Ulex europaeus</i> | |
| 14 | タマリクス・ラモシッスマ | <i>Tamarix ramosissima</i> | |
| 15 | アメリカクサノボタン | <i>Clidemia hirta</i> | |
| 16 | オオバノボタン | <i>Miconia calvescens</i> | |
| 17 | セイロンマンリョウ | <i>Ardisia elliptica</i> | |

【リストC】要注意外来生物リスト (2)被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

| No. | 種名 | 学名 | 備考 |
|-----|-----------------|--|----------------------|
| 18 | リグストルム・ロブストゥム | <i>Ligustrum robustum</i> | |
| 19 | ランタナ | <i>Lantana camara</i> | |
| 20 | チョウセンアサガオ類 | | 一部文献ではヨウシュチョウウセンアサガオ |
| 21 | オオサンショウモ | <i>Salvinia molesta</i> | |
| 22 | エゾノギシギシ | <i>Rumex obtusifolius</i> var. <i>agrestis</i> | |
| 23 | ハリビュ | <i>Amaranthus spinosus</i> | |
| 24 | オプンティア・ストリクタ | <i>Opuntia stricta</i> | |
| 25 | ハゴロモモ (フサジュンサイ) | <i>Cabomba caroliniana</i> | |
| 26 | ハルザキヤマガラシ | <i>Barbarea vulgaris</i> | |
| 27 | オランダガラシ | <i>Nasturtium officinale</i> | |
| 28 | ムラサキカタバミ | <i>Oxalis corymbosa</i> | 一部文献ではカタバミ類 |
| 29 | イチビ | <i>Corchorus capsularis</i> | |
| 30 | アメリカミズユキノシタ | <i>Ludwigia repens</i> | |
| 31 | メマツヨイグサ | <i>Oenothera biennis</i> | |
| 32 | コマツヨイグサ | <i>Oenothera laciniata</i> | |
| 33 | ドクニンジン | <i>Conium maculatum</i> | |
| 34 | ハナガガブタ | <i>Nymphoides aquatica</i> | |
| 35 | オオフタバムグラ | <i>Diodia teres</i> | |
| 36 | セイヨウヒルガオ | <i>Convolvulus arvensis</i> | |
| 37 | アメリカネナシカズラ | <i>Cuscuta pentagona</i> | |
| 38 | ワルナスピ | <i>Solanum carolinens</i> | |
| 39 | オトメアゼナ | <i>Bacopa monnieri</i> | |
| 40 | ヤセウツボ | <i>Orobanche minor</i> | |
| 41 | ヘラオオバコ | <i>Plantago lanceolata</i> | |
| 42 | ブタクサ | <i>Ambrosia artemisiifolia</i> var. <i>elatior</i> | |
| 43 | カミツレモドキ | <i>Anthemis cotula</i> | |
| 44 | ネバリノギク | <i>Aster novae-angliae</i> | |
| 45 | アメリカセンダングサ | <i>Bidens frondosa</i> | |
| 46 | タチアワユキセンダングサ | <i>Bidens pilosa</i> var. <i>radiata</i> | |
| 47 | コセンダングサ | <i>Bidens pilosa</i> var. <i>polosa</i> | |
| 48 | アメリカオニアザミ | <i>Cirsium vulgare</i> | |
| 49 | オオアレチノギク | <i>Conyza sumatrensis</i> | |
| 50 | ヒメムカシヨモギ | <i>Erigeron canadensis</i> | |
| 51 | ハルジオン | <i>Erigeron philadelphicus</i> | |
| 52 | ヒマワリヒヨドリ | <i>Eupatorium odoratum</i> | |

【リスト C】要注意外来生物リスト (2)被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

| No. | 種名 | 学名 | 備考 |
|-----|-------------------|---|------------------------|
| 53 | キクイモ | <i>Helianthus tuberosus</i> | |
| 54 | ブタナ | <i>Hypochoeris radicata</i> | |
| 55 | ミカニア・ミクランサ | <i>Mikania micrantha</i> | |
| 56 | オオアワダチソウ | <i>Solidago gigantea</i> var. <i>leiophylla</i> | |
| 57 | ヒメジョオン | <i>Stenactis annuus</i> | |
| 58 | アメリカハマグルマ | <i>Wedelia trilobata</i> | |
| 59 | オオオナモミ | <i>Xanthium occidentale</i> | |
| 60 | 外来タンポポ種群 | | 一部文献ではセイヨウタンポポ、アカミタンポポ |
| 61 | ナガバオモダカ | <i>Sagittaria graminea</i> | |
| 62 | キショウブ | <i>Iris pseudoacorus</i> | |
| 63 | ノハカタカラクサ（トキワツユクサ） | <i>Tradescantia fluminensis</i> | |
| 64 | メリケンカルカヤ | <i>Andropogon virginicus</i> | |
| 65 | メリケンガヤツリ | <i>Cyperus eragrostis</i> | |
| 66 | ショクヨウガヤツリ | <i>Cyperus esculentus</i> | |
| 67 | キバナシュクシャ | <i>Hedychium gardnerianum</i> | |
| | 67種 | | |

(3)選定の対象とならないが注意喚起が必要な外来生物（他法令の規制対象種）※植物は該当なし

他法令による規制があることから、外来生物法に基づく特定外来生物や未判定外来生物の選定の対象とはならないが、特に利用に当たっての注意喚起が必要な外来生物。現在植物防疫法の規制対象となっている4種の外来生物が選定されている。

(4)別途総合的な取組みを進める緑化植物

緑化に用いられる外来植物は、災害防止のための法面緑化など様々な場で用いられることが、被害の発生構造の把握と併せて代替的な植物の入手可能性や代替的な緑化手法の検討等を含めて環境省、農林水産省及び国土交通省の3省が連携して総合的な取組みについて検討をすすめることとしている。

| No. | 種名 | 学名 | 備考 |
|-----|---------|------------------------------|----|
| 1 | ギンネム | <i>Leucaena leucocephala</i> | |
| 2 | ハリエンジュ | <i>Robinia pseudoacacia</i> | |
| 3 | トウネズミモチ | <i>Ligustrum lucidum</i> | |
| 4 | イタチハギ | <i>Amorpha fruticosa</i> | |
| 5 | ハイイロヨモギ | <i>Artemisia sieversiana</i> | |

【リストC】要注意外来生物リスト (4) 別途総合的な取組を進める緑化植物

| No. | 種名 | 学名 | 備考 |
|-----|------------|---|----|
| 6 | カモガヤ | <i>Dactylis glomerata</i> | |
| 7 | シバムギ | <i>Elymus repens</i> | |
| 8 | シナダレスズメガヤ | <i>Eragrostis curvula</i> | |
| 9 | オニウシノケグサ | <i>Festuca arundinacea</i> | |
| 10 | ネズミムギ・ホソムギ | <i>Lolium multiflorum L. perenne</i> | |
| 11 | キシュウスズメノヒエ | <i>Paspalum distichum</i> var. <i>distichum</i> | |
| 12 | オオアワガエリ | <i>Phleum pratense</i> | |
| | 12種 | | |

【参考資料の索引】

| 種名 | 種別 | ページ番号 |
|--|------|-------|
| アオイスミレ | 在来種 | 32 |
| アオハダ | 在来種 | 25 |
| アオミズ | 在来種 | 39 |
| アカガシ | 在来種 | 25 |
| アカキナノキ | 要注意 | 44 |
| アカシデ | 在来種 | 25 |
| アカショウマ | 在来種 | 32 |
| アカネ | 在来種 | 32 |
| アカネスマレ | 在来種 | 32 |
| アカマツ | 在来種 | 25 |
| アカメガシワ | 在来種 | 25 |
| アカメヤナギ | 在来種 | 25 |
| アキカラマツ | 在来種 | 32 |
| アキグミ | 在来種 | 28 |
| アキノウナギツカミ | 在来種 | 40 |
| アキノキリンソウ | 在来種 | 32 |
| アキノタムラソウ | 在来種 | 32 |
| アキノノゲシ | 在来種 | 39 |
| アケビ | 在来種 | 31 |
| アシタバ | 在来種 | 32 |
| アズマイバラ | 在来種 | 28 |
| アズマヤマアザミ | 在来種 | 33 |
| アセビ | 在来種 | 28 |
| アブラ・クリスター ^タ (アメリカオオアカウキクサ) | 特定外来 | 42 |
| アブラススキ | 在来種 | 33 |
| アブラチャン | 在来種 | 27 |
| アメリカオニアザミ | 要注意 | 45 |
| アメリカカクサンボタン | 要注意 | 44 |
| アメリカセンダングサ | 要注意 | 45 |
| アメリカカネナシカズラ | 要注意 | 45 |
| アメリカハマグルマ | 要注意 | 46 |
| アメリカミズユキノシタ | 要注意 | 45 |
| アラカシ | 在来種 | 25 |
| アリアケスマレ | 在来種 | 33 |
| アレチウリ | 特定外来 | 42 |
| アワブキ | 在来種 | 25 |
| イ | 在来種 | 33 |
| イタチハギ | 要注意 | 46 |
| イタビカズラ | 在来種 | 30 |

| 種名 | 種別 | ページ番号 |
|----------|-----|-------|
| イタヤカエデ | 在来種 | 25 |
| イチビ | 要注意 | 45 |
| イチリンソウ | 在来種 | 33 |
| イヌエンジュ | 在来種 | 25 |
| イヌガヤ | 在来種 | 25 |
| イヌガンソク | 在来種 | 33 |
| イヌゴマ | 在来種 | 33 |
| イヌコリヤナギ | 在来種 | 28 |
| イヌザクラ | 在来種 | 25 |
| イヌザンショウ | 在来種 | 28 |
| イヌシダ | 在来種 | 33 |
| イヌシデ | 在来種 | 26 |
| イヌショウマ | 在来種 | 33 |
| イヌタデ | 在来種 | 40 |
| イヌツゲ | 在来種 | 28 |
| イヌビワ | 在来種 | 28 |
| イヌブナ | 在来種 | 26 |
| イヌマキ | 在来種 | 25 |
| イヌワラビ | 在来種 | 33 |
| イノデ | 在来種 | 31 |
| イノモトソウ | 在来種 | 31 |
| イブキビャクシン | 在来種 | 27 |
| イボクサ | 在来種 | 40 |
| イボタノキ | 在来種 | 28 |
| イロハモミジ | 在来種 | 26 |
| イワガネゼンマイ | 在来種 | 33 |
| イワガネソウ | 在来種 | 33 |
| イワガラミ | 在来種 | 31 |
| イワギボウシ | 在来種 | 33 |
| イワキンバイ | 在来種 | 33 |
| イワタバコ | 在来種 | 33 |
| イワデンダ | 在来種 | 33 |
| イワナンテン | 在来種 | 28 |
| イワヒバ | 在来種 | 31 |
| ウグイスカグラ | 在来種 | 28 |
| ウツギ | 在来種 | 28 |
| ウツボグサ | 在来種 | 33 |
| ウド | 在来種 | 33 |
| ウバユリ | 在来種 | 33 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|------------|------|-----------|
| ウマノアシガタ | 在来種 | 33 |
| ウラシマソウ | 在来種 | 33 |
| ウラジロガシ | 在来種 | 25 |
| ウラジロノキ | 在来種 | 26 |
| ウラハグサ | 在来種 | 33 |
| ウリカエデ | 在来種 | 28 |
| ウリノキ | 在来種 | 29 |
| ウリハダカエデ | 在来種 | 26 |
| ウワバミソウ | 在来種 | 33 |
| ウワミズザクラ | 在来種 | 26 |
| エイザンスマレ | 在来種 | 33 |
| エゴノキ | 在来種 | 26 |
| エゾノギシギシ | 要注意 | 45 |
| エノキ | 在来種 | 26 |
| エノコログサ | 在来種 | 40 |
| エビヅル | 在来種 | 31 |
| エンレイソウ | 在来種 | 33 |
| オオアレチノギク | 要注意 | 45 |
| オオアワガエリ | 要注意 | 47 |
| オオアワダチソウ | 要注意 | 46 |
| オオイタチシダ | 在来種 | 31 |
| オオイタビ | 在来種 | 30 |
| オオオナモミ | 要注意 | 46 |
| オオカナダモ | 要注意 | 44 |
| オオカワヂシャ | 特定外来 | 42 |
| オオキンケイギク | 特定外来 | 42 |
| オオサンショウモ | 要注意 | 45 |
| オオジンバリ | 在来種 | 33 |
| オオバイボタ | 在来種 | 28 |
| オオバギボウシ | 在来種 | 33 |
| オオバコ | 在来種 | 33 |
| オオバジャノヒゲ | 在来種 | 31 |
| オオバタネツケバナ | 在来種 | 33 |
| オオハナワラビ | 在来種 | 33 |
| オオバノイノモトソウ | 在来種 | 31 |
| オオバノボタン | 要注意 | 44 |
| オオハンゴンソウ | 特定外来 | 42 |
| オオフサモ | 特定外来 | 42 |
| オオブタクサ | 要注意 | 44 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|--------------|-----|-----------|
| オオフタバムグラ | 要注意 | 45 |
| オオベニシダ | 在来種 | 31 |
| オオモミジ | 在来種 | 26 |
| オカトラノオ | 在来種 | 33 |
| オカヒジキ | 在来種 | 40 |
| オガルカヤ | 在来種 | 33 |
| オギ | 在来種 | 33 |
| オクマワラビ | 在来種 | 31 |
| オシダ | 在来種 | 33 |
| オトギリソウ | 在来種 | 33 |
| オトコエシ | 在来種 | 33 |
| オトコヨウゾメ | 在来種 | 29 |
| オトコヨモギ | 在来種 | 33 |
| オトメアゼナ | 要注意 | 45 |
| オドリコソウ | 在来種 | 33 |
| オニイタヤ | 在来種 | 26 |
| オニウシノケグサ | 要注意 | 47 |
| オニグルミ | 在来種 | 26 |
| オニシバリ | 在来種 | 28 |
| オニヤブソテツ | 在来種 | 31 |
| オニルリソウ | 在来種 | 39 |
| オブンティア・ストリクタ | 要注意 | 45 |
| オヘビイチゴ | 在来種 | 34 |
| オモダカ | 在来種 | 34 |
| オモト | 在来種 | 31 |
| オランダガラシ | 要注意 | 45 |
| 外来タンボポ種群 | 要注意 | 46 |
| カエンボク | 要注意 | 44 |
| ガガイモ | 在来種 | 34 |
| カキドオシ | 在来種 | 34 |
| ガクアジサイ | 在来種 | 29 |
| ガクウツギ | 在来種 | 29 |
| カサスゲ | 在来種 | 34 |
| カジイチゴ | 在来種 | 29 |
| カジカエデ | 在来種 | 26 |
| カシワ | 在来種 | 27 |
| カシワバハグマ | 在来種 | 34 |
| カズノコグサ | 在来種 | 39 |
| カスミザクサ | 在来種 | 26 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|------------|-----|-----------|
| カゼクサ | 在来種 | 34 |
| カタバミ | 在来種 | 34 |
| カタヒバ | 在来種 | 31 |
| カツラ | 在来種 | 26 |
| カナムグラ | 在来種 | 40 |
| カニクサ | 在来種 | 34 |
| カノツメソウ | 在来種 | 34 |
| ガマ | 在来種 | 34 |
| ガマズミ | 在来種 | 29 |
| カマツカ | 在来種 | 29 |
| カミツレモドキ | 要注意 | 45 |
| カモガヤ | 要注意 | 47 |
| カモジグサ | 在来種 | 34 |
| カヤ | 在来種 | 25 |
| カユブテ | 要注意 | 44 |
| カラスウリ | 在来種 | 34 |
| カラスノゴマ | 在来種 | 40 |
| カラスピシヤク | 在来種 | 34 |
| カラハナソウ | 在来種 | 34 |
| カラマツ | 在来種 | 27 |
| カラムシ | 在来種 | 34 |
| カワヤナギ | 在来種 | 27 |
| カワラヨモギ | 在来種 | 34 |
| カンアオイ | 在来種 | 31 |
| カンスゲ | 在来種 | 34 |
| カントウタンポポ | 在来種 | 34 |
| カントウヨメナ | 在来種 | 34 |
| キカラスウリ | 在来種 | 34 |
| キクイモ | 要注意 | 46 |
| ギシギシ | 在来種 | 34 |
| キジムシロ | 在来種 | 34 |
| キシュウスズメノヒエ | 要注意 | 47 |
| キショウブ | 要注意 | 46 |
| キチジョウソウ | 在来種 | 31 |
| キッコウハグマ | 在来種 | 34 |
| キヅタ | 在来種 | 30 |
| キツネアザミ | 在来種 | 39 |
| キツネノボタン | 在来種 | 34 |
| キツネノマゴ | 在来種 | 40 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|-------------|-----|-----------|
| キツリフネ | 在来種 | 40 |
| キバナシュクシャ | 要注意 | 46 |
| キブシ | 在来種 | 29 |
| キミノヒマラヤキイチゴ | 要注意 | 44 |
| ギョウギシバ | 在来種 | 34 |
| キランソウ | 在来種 | 34 |
| キリンソウ | 在来種 | 34 |
| キンエノコロ | 在来種 | 40 |
| ギンネム | 要注意 | 46 |
| キンミズヒキ | 在来種 | 34 |
| クコ | 在来種 | 29 |
| クサアジサイ | 在来種 | 34 |
| クサイチゴ | 在来種 | 29 |
| クサギ | 在来種 | 28 |
| クサコアカソ | 在来種 | 34 |
| クサソテツ | 在来種 | 34 |
| クサノオウ | 在来種 | 39 |
| クサボケ | 在来種 | 29 |
| クサボタン | 在来種 | 29 |
| クサヨシ | 在来種 | 34 |
| クジャクシダ | 在来種 | 34 |
| クヌギ | 在来種 | 26 |
| クマシデ | 在来種 | 26 |
| クマツヅラ | 在来種 | 34 |
| クマノミズキ | 在来種 | 26 |
| クラマゴケ | 在来種 | 31 |
| クララ | 在来種 | 34 |
| クリ | 在来種 | 26 |
| クロウメモドキ | 在来種 | 29 |
| クログワイ | 在来種 | 34 |
| クロマツ | 在来種 | 25 |
| クロモジ | 在来種 | 29 |
| クワガタソウ | 在来種 | 34 |
| ゲジゲジシダ | 在来種 | 35 |
| ケヤキ | 在来種 | 26 |
| ケヤマハンノキ | 在来種 | 26 |
| ゲンノショウコ | 在来種 | 35 |
| ケンポナシ | 在来種 | 26 |
| コアジサイ | 在来種 | 29 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|-----------|-----|-----------|
| コウゾリナ | 在来種 | 39 |
| コウヤボウキ | 在来種 | 29 |
| コウヤワラビ | 在来種 | 35 |
| コカナダモ | 要注意 | 44 |
| コガマ | 在来種 | 35 |
| コクサギ | 在来種 | 29 |
| コケオトギリ | 在来種 | 39 |
| コゴメウツギ | 在来種 | 29 |
| コシオガマ | 在来種 | 40 |
| コスミレ | 在来種 | 35 |
| コセンダングサ | 要注意 | 45 |
| コツブキンエノコロ | 在来種 | 39 |
| コナギ | 在来種 | 40 |
| コナスピ | 在来種 | 35 |
| コナラ | 在来種 | 26 |
| コハウチワカエデ | 在来種 | 26 |
| コバギボウシ | 在来種 | 35 |
| コバノガマズミ | 在来種 | 29 |
| コバノタツナミ | 在来種 | 35 |
| コバノヒノキシダ | 在来種 | 31 |
| コヒルガオ | 在来種 | 35 |
| コブシ | 在来種 | 26 |
| コマツナギ | 在来種 | 29 |
| コマツヨイグサ | 要注意 | 45 |
| コミカンソウ | 在来種 | 40 |
| コモチマンネングサ | 在来種 | 39 |
| ゴンズイ | 在来種 | 26 |
| サイカチ | 在来種 | 26 |
| サイハイラン | 在来種 | 32 |
| サネカズラ | 在来種 | 30 |
| サルナシ | 在来種 | 31 |
| サワグルミ | 在来種 | 26 |
| サワシバ | 在来種 | 26 |
| サワヒヨドリ | 在来種 | 35 |
| サワフタギ | 在来種 | 29 |
| サワラ | 在来種 | 25 |
| サンカクイ | 在来種 | 35 |
| サンカクヅル | 在来種 | 31 |
| サンショウ | 在来種 | 29 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|--------------|------|-----------|
| サンショウモドキ | 要注意 | 44 |
| シオデ | 在来種 | 35 |
| シキミ | 在来種 | 25 |
| シケシダ | 在来種 | 35 |
| ジシバリ | 在来種 | 35 |
| シナダレスズメガヤ | 要注意 | 47 |
| シバ | 在来種 | 35 |
| シバムギ | 要注意 | 47 |
| シモツケ | 在来種 | 29 |
| シモバシラ | 在来種 | 35 |
| ジャノヒゲ | 在来種 | 31 |
| ジュウニヒトエ | 在来種 | 35 |
| ジュウモンジシダ | 在来種 | 35 |
| シュンラン | 在来種 | 32 |
| ショクヨウガヤツリ | 要注意 | 46 |
| シラカシ | 在来種 | 25 |
| シラキ | 在来種 | 26 |
| シラネセンキュウ | 在来種 | 35 |
| シラヤマギク | 在来種 | 35 |
| シロイトスゲ | 在来種 | 35 |
| シロザ | 在来種 | 40 |
| シロダモ | 在来種 | 25 |
| シロバナエンレイソウ | 在来種 | 35 |
| ジロボウエンゴサク | 在来種 | 35 |
| シロヨメナ | 在来種 | 35 |
| スイカズラ | 在来種 | 30 |
| スイバ | 在来種 | 35 |
| スギ | 在来種 | 25 |
| スギナ | 在来種 | 35 |
| ススキ | 在来種 | 35 |
| スズメウリ | 在来種 | 40 |
| スズメノカタビラ | 在来種 | 39 |
| スズメノヤリ | 在来種 | 32 |
| スダジイ | 在来種 | 25 |
| スバルティナ・アングリカ | 特定外来 | 42 |
| スペリヒュ | 在来種 | 39 |
| スマレ | 在来種 | 35 |
| セイタカアワダチソウ | 要注意 | 44 |
| セイヨウヒルガオ | 要注意 | 45 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|--------------|-----|-----------|
| セイロンマンリョウ | 要注意 | 44 |
| セキショウ | 在来種 | 32 |
| セキヤノアキチョウジ | 在来種 | 35 |
| セリ | 在来種 | 35 |
| セントウソウ | 在来種 | 35 |
| センニンソウ | 在来種 | 35 |
| センボンヤリ | 在来種 | 35 |
| ゼンマイ | 在来種 | 35 |
| ソクズ | 在来種 | 35 |
| タイアザミ | 在来種 | 35 |
| ダイコンソウ | 在来種 | 35 |
| タイトゴメ | 在来種 | 36 |
| タカトウダイ | 在来種 | 36 |
| タガネソウ | 在来種 | 36 |
| タケニグサ | 在来種 | 36 |
| タチアワユキセンダングサ | 要注意 | 45 |
| タチシノブ | 在来種 | 32 |
| タチツボスミレ | 在来種 | 36 |
| タチヤナギ | 在来種 | 28 |
| タツナミソウ | 在来種 | 36 |
| タニゾバ | 在来種 | 40 |
| タニタデ | 在来種 | 36 |
| タネツケバナ | 在来種 | 39 |
| タブノキ | 在来種 | 25 |
| タマアジサイ | 在来種 | 29 |
| タマリクス・ラモシッスマ | 要注意 | 44 |
| タラノキ | 在来種 | 26 |
| ダンコウバイ | 在来種 | 28 |
| チカラシバ | 在来種 | 36 |
| チゴザサ | 在来種 | 36 |
| チゴユリ | 在来種 | 36 |
| チドリノキ | 在来種 | 26 |
| チョウジザクラ | 在来種 | 26 |
| チョウセンアサガオ類 | 要注意 | 45 |
| ツガ | 在来種 | 25 |
| ツクバネウツギ | 在来種 | 29 |
| ツクバネガシ | 在来種 | 25 |
| ツタ | 在来種 | 31 |
| ツボスミレ | 在来種 | 36 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|-------------|------|-----------|
| ツユクサ | 在来種 | 40 |
| ツリガネニンジン | 在来種 | 36 |
| ツリバナ | 在来種 | 29 |
| ツルアジサイ | 在来種 | 31 |
| ツルウメモドキ | 在来種 | 31 |
| ツルグミ | 在来種 | 30 |
| ツルデンダ | 在来種 | 32 |
| ツルナ | 在来種 | 36 |
| ツルニンジン | 在来種 | 36 |
| ツルフジバカマ | 在来種 | 36 |
| ツルボ | 在来種 | 36 |
| ツルマサキ | 在来種 | 30 |
| ツルマメ | 在来種 | 40 |
| ツルヨシ | 在来種 | 36 |
| ツワブキ | 在来種 | 32 |
| ティカカズラ | 在来種 | 30 |
| テバコモミジガサ | 在来種 | 36 |
| テリハノイバラ | 在来種 | 28 |
| テリハバンジロウ | 要注意 | 44 |
| テンニンソウ | 在来種 | 36 |
| トウオオバコ | 在来種 | 36 |
| トウゴクミツバツツジ | 在来種 | 29 |
| トウダイグサ | 在来種 | 39 |
| トウネズミモチ | 要注意 | 46 |
| トキリマメ | 在来種 | 36 |
| ドクダミ | 在来種 | 36 |
| ドクニンジン | 要注意 | 45 |
| トダシバ | 在来種 | 36 |
| トチノキ | 在来種 | 26 |
| トベラ | 在来種 | 27 |
| トラノオシダ | 在来種 | 32 |
| ナガエツルノゲイトウ | 特定外来 | 42 |
| ナガバオモダカ | 要注意 | 46 |
| ナガバジャノヒゲ | 在来種 | 32 |
| ナガバノスミレサイシン | 在来種 | 36 |
| ナギナタコウジュ | 在来種 | 40 |
| ナキリスグ | 在来種 | 36 |
| ナズナ | 在来種 | 39 |
| ナツグミ | 在来種 | 28 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|-------------------|------|-----------|
| ナツトウダイ | 在来種 | 36 |
| ナルコユリ | 在来種 | 36 |
| ナルトサワギク | 特定外来 | 42 |
| ナワシロイチゴ | 在来種 | 29 |
| ナンテンハギ | 在来種 | 36 |
| ナンバンギセル | 在来種 | 40 |
| ニオイタチツボスミレ | 在来種 | 36 |
| ニガイチゴ | 在来種 | 29 |
| ニガキ | 在来種 | 26 |
| ニガナ | 在来種 | 36 |
| ニシキウツギ | 在来種 | 29 |
| ニシキギ | 在来種 | 29 |
| ニワトコ | 在来種 | 29 |
| ニワホコリ | 在来種 | 40 |
| ヌカボ | 在来種 | 36 |
| ヌスピトハギ | 在来種 | 36 |
| ヌルデ | 在来種 | 26 |
| ネコハギ | 在来種 | 36 |
| ネジキ | 在来種 | 28 |
| ネジバナ | 在来種 | 36 |
| ネズミムギ・ホソムギ | 要注意 | 47 |
| ネズミモチ | 在来種 | 28 |
| ネバリノギク | 要注意 | 45 |
| ネムノキ | 在来種 | 26 |
| ノアザミ | 在来種 | 36 |
| ノイバラ | 在来種 | 29 |
| ノガリヤス | 在来種 | 36 |
| ノカンゾウ | 在来種 | 36 |
| ノキシノブ | 在来種 | 32 |
| ノコンギク | 在来種 | 36 |
| ノササゲ | 在来種 | 37 |
| ノジスマリ | 在来種 | 37 |
| ノダケ | 在来種 | 37 |
| ノハカタカラクサ（トキワツユクサ） | 要注意 | 46 |
| ノハラアザミ | 在来種 | 37 |
| ノビル | 在来種 | 37 |
| ノブドウ | 在来種 | 31 |
| ノリウツギ | 在来種 | 29 |
| ハイイロヨモギ | 要注意 | 46 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|----------------|-----|-----------|
| バイカウツギ | 在来種 | 29 |
| バイカツツジ | 在来種 | 29 |
| ハウチワカエデ | 在来種 | 26 |
| ハカタシダ | 在来種 | 32 |
| ハクウンボク | 在来種 | 27 |
| ハコネウツギ | 在来種 | 29 |
| ハコネシダ | 在来種 | 32 |
| ハゴロモモ（フサジュンサイ） | 要注意 | 45 |
| ハチジョウススキ | 在来種 | 37 |
| ハッカ | 在来種 | 37 |
| バッコヤナギ | 在来種 | 27 |
| ハナイカダ | 在来種 | 30 |
| ハナガガブタ | 要注意 | 45 |
| ハマエンドウ | 在来種 | 37 |
| ハマカンゾウ | 在来種 | 37 |
| ハマヒサカキ | 在来種 | 28 |
| ハマヒルガオ | 在来種 | 37 |
| パライチゴ | 在来種 | 30 |
| ハリエニシダ | 要注意 | 44 |
| ハリエンジュ | 要注意 | 46 |
| ハリギリ | 在来種 | 27 |
| ハリビュ | 要注意 | 45 |
| ハルザキヤマガラシ | 要注意 | 45 |
| ハルジオン | 要注意 | 45 |
| ハルニレ | 在来種 | 27 |
| ヒイラギ | 在来種 | 25 |
| ヒカゲスグ | 在来種 | 37 |
| ヒゴクサ | 在来種 | 37 |
| ヒサカキ | 在来種 | 27 |
| ヒトリシズカ | 在来種 | 37 |
| ヒナスマリ | 在来種 | 37 |
| ヒノキ | 在来種 | 25 |
| ヒマワリヒヨドリ | 要注意 | 45 |
| ヒメウズ | 在来種 | 37 |
| ヒメウツギ | 在来種 | 30 |
| ヒメガマ | 在来種 | 37 |
| ヒメキンミズヒキ | 在来種 | 37 |
| ヒメコウゾ | 在来種 | 30 |
| ヒメシダ | 在来種 | 37 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|---------------|------|-----------|
| ヒメジョオン | 要注意 | 46 |
| ヒメスマレ | 在来種 | 37 |
| ヒメノキシノブ | 在来種 | 32 |
| ヒメムカシヨモギ | 要注意 | 45 |
| ヒメヤプラン | 在来種 | 32 |
| ヒメワラビ | 在来種 | 37 |
| ヒヨドリジョウゴ | 在来種 | 37 |
| ヒヨドリバナ | 在来種 | 37 |
| ヒルガオ | 在来種 | 37 |
| ビロードシダ | 在来種 | 32 |
| フキ | 在来種 | 37 |
| フクロシダ | 在来種 | 37 |
| フサザクラ | 在来種 | 27 |
| フジ | 在来種 | 31 |
| フジウツギ | 在来種 | 30 |
| フジカンゾウ | 在来種 | 37 |
| フジキ | 在来種 | 27 |
| フシグロ | 在来種 | 39 |
| ブタクサ | 要注意 | 45 |
| ブタナ | 要注意 | 46 |
| フタバアオイ | 在来種 | 37 |
| フタリシズカ | 在来種 | 37 |
| フデリンンドウ | 在来種 | 39 |
| フトイ | 在来種 | 37 |
| フトボナギナタコウジュ | 在来種 | 40 |
| ブナ | 在来種 | 27 |
| フモトシダ | 在来種 | 32 |
| フユイチゴ | 在来種 | 28 |
| フユノハナワラビ | 在来種 | 37 |
| ブラジルチドメグサ | 特定外来 | 42 |
| フランスカイガンショウ | 要注意 | 44 |
| プロソピス・グランドウロサ | 要注意 | 44 |
| ベニシダ | 在来種 | 32 |
| ヘビイチゴ | 在来種 | 37 |
| ヘビノネゴザ | 在来種 | 37 |
| ヘラオオバコ | 要注意 | 45 |
| ホウチャクソウ | 在来種 | 37 |
| ホオノキ | 在来種 | 27 |
| ホシダ | 在来種 | 32 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|------------|------|-----------|
| ホタルブクロ | 在来種 | 37 |
| ボタンウキクサ | 特定外来 | 42 |
| ホティアオイ | 要注意 | 44 |
| マサキ | 在来種 | 28 |
| マタタビ | 在来種 | 31 |
| マツカゼソウ | 在来種 | 37 |
| マツブサ | 在来種 | 31 |
| ママコノシリヌグイ | 在来種 | 40 |
| マムシグサ | 在来種 | 37 |
| マユミ | 在来種 | 30 |
| マルバアオダモ | 在来種 | 27 |
| マルバウツギ | 在来種 | 30 |
| マルバスミレ | 在来種 | 37 |
| マルバハギ | 在来種 | 31 |
| マルミノヤマゴボウ | 在来種 | 37 |
| マンサク | 在来種 | 28 |
| マンリョウ | 在来種 | 28 |
| ミカニア・ミクランサ | 要注意 | 46 |
| ミズキ | 在来種 | 27 |
| ミズタマソウ | 在来種 | 38 |
| ミズナラ | 在来種 | 27 |
| ミズヒキ | 在来種 | 38 |
| ミズヒマワリ | 特定外来 | 42 |
| ミヅカクシ | 在来種 | 38 |
| ミヅシダ | 在来種 | 38 |
| ミヅソバ | 在来種 | 40 |
| ミソハギ | 在来種 | 38 |
| ミヅホオズキ | 在来種 | 38 |
| ミツデウラボシ | 在来種 | 32 |
| ミツデカエデ | 在来種 | 27 |
| ミツバ | 在来種 | 38 |
| ミツバアケビ | 在来種 | 31 |
| ミツバウツギ | 在来種 | 30 |
| ミツバツチグリ | 在来種 | 38 |
| ミツバツツジ | 在来種 | 30 |
| ミドリハコベ | 在来種 | 39 |
| ミドリヒメワラビ | 在来種 | 38 |
| ミミナグサ | 在来種 | 38 |
| ミモザ・ピグラ | 要注意 | 44 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|----------|-----|-----------|
| ミヤコグサ | 在来種 | 38 |
| ミヤマカンスゲ | 在来種 | 32 |
| ミヤマキケマン | 在来種 | 39 |
| ミヤマシキミ | 在来種 | 28 |
| ミヤマノキシノブ | 在来種 | 32 |
| ミヤマフユイチゴ | 在来種 | 28 |
| ミヤママタタビ | 在来種 | 31 |
| ムクノキ | 在来種 | 27 |
| ムクロジ | 在来種 | 27 |
| ムベ | 在来種 | 30 |
| ムラサキカタバミ | 要注意 | 45 |
| ムラサキケマン | 在来種 | 39 |
| ムラサキサギゴケ | 在来種 | 38 |
| ムラサキシキブ | 在来種 | 30 |
| ムラサキニガナ | 在来種 | 38 |
| メギ | 在来種 | 30 |
| メグスリノキ | 在来種 | 27 |
| メドハギ | 在来種 | 38 |
| メハジキ | 在来種 | 39 |
| メマツヨイグサ | 要注意 | 45 |
| メリケンガヤツリ | 要注意 | 46 |
| メリケンカルカヤ | 要注意 | 46 |
| モチノキ | 在来種 | 25 |
| モミ | 在来種 | 25 |
| モミジイチゴ | 在来種 | 30 |
| モミジガサ | 在来種 | 38 |
| モリシマアカシア | 要注意 | 44 |
| モレラ・ファヤ | 要注意 | 44 |
| ヤクシソウ | 在来種 | 39 |
| ヤグルマソウ | 在来種 | 38 |
| ヤセウツボ | 要注意 | 45 |
| ヤツデグワ | 要注意 | 44 |
| ヤナギタデ | 在来種 | 40 |
| ヤブカンゾウ | 在来種 | 38 |
| ヤブコウジ | 在来種 | 28 |
| ヤブソテツ | 在来種 | 32 |
| ヤブツバキ | 在来種 | 25 |
| ヤブツルアルズキ | 在来種 | 40 |
| ヤブデマリ | 在来種 | 30 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|-----------|-----|-----------|
| ヤブニッケイ | 在来種 | 25 |
| ヤブヘビイチゴ | 在来種 | 38 |
| ヤブマオ | 在来種 | 38 |
| ヤブミョウガ | 在来種 | 38 |
| ヤブムラサキ | 在来種 | 30 |
| ヤブラン | 在来種 | 32 |
| ヤブレガサ | 在来種 | 38 |
| ヤマアジサイ | 在来種 | 30 |
| ヤマイタチシダ | 在来種 | 32 |
| ヤマイヌワラビ | 在来種 | 38 |
| ヤマウグイスカグラ | 在来種 | 30 |
| ヤマウコギ | 在来種 | 30 |
| ヤマエンゴサク | 在来種 | 38 |
| ヤマグワ | 在来種 | 27 |
| ヤマコウバン | 在来種 | 30 |
| ヤマザクラ | 在来種 | 27 |
| ヤマズメノヒエ | 在来種 | 38 |
| ヤマゼリ | 在来種 | 38 |
| ヤマツツジ | 在来種 | 30 |
| ヤマトアオダモ | 在来種 | 27 |
| ヤマナラシ | 在来種 | 27 |
| ヤマニガナ | 在来種 | 39 |
| ヤマヌカボ | 在来種 | 38 |
| ヤマノイモ | 在来種 | 38 |
| ヤマハギ | 在来種 | 30 |
| ヤマハゼ | 在来種 | 27 |
| ヤマハタザオ | 在来種 | 38 |
| ヤマハッカ | 在来種 | 38 |
| ヤマブキ | 在来種 | 30 |
| ヤマブキショウマ | 在来種 | 38 |
| ヤマブドウ | 在来種 | 31 |
| ヤマボウシ | 在来種 | 27 |
| ヤマホタルブクロ | 在来種 | 38 |
| ヤマホトトギス | 在来種 | 38 |
| ヤマミズ | 在来種 | 40 |
| ヤマモモ | 在来種 | 25 |
| ヤマユリ | 在来種 | 38 |
| ユウガギク | 在来種 | 38 |
| ユキザサ | 在来種 | 38 |

| 種名 | 種別 | ページ 番号 |
|---------------|-----|-----------|
| ユキノシタ | 在来種 | 38 |
| ユキヤナギ | 在来種 | 30 |
| ユリワサビ | 在来種 | 38 |
| ヨシ | 在来種 | 38 |
| ヨツバヒヨドリ | 在来種 | 39 |
| ヨモギ | 在来種 | 39 |
| ランタナ | 要注意 | 45 |
| リグストルム・ロブストゥム | 要注意 | 45 |
| リュウノウギク | 在来種 | 39 |
| リョウブ | 在来種 | 27 |
| リョウメンシダ | 在来種 | 32 |
| リンドウ | 在来種 | 39 |
| レモンエゴマ | 在来種 | 40 |
| ワサビ | 在来種 | 39 |
| ワラビ | 在来種 | 39 |
| ワルナスピ | 要注意 | 45 |
| ワレモコウ | 在来種 | 39 |

語句説明

| | |
|------------------|--|
| 外来種 | 国内由来か国外由来かを問わず、人為によって意図的・非意図的に本来の生息地・生育地の外から持ち込まれた生物 |
| 外来生物法 | 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（平成 16 年法律第 78 号） |
| 国外外来種 | 外来生物の種のうち日本国外由来のもの |
| 国内外来種 | 外来生物の種のうち日本国内由来のもの。本ガイドラインでは東京都外から人為によって意図的・非意図的に持ち込まれた植物のこととして用いている。 |
| 在来種 | ある場所に自然分布している種、亜種またはそれ以下の分類群 |
| 自然植生 | 人間によって伐採や植林などの手が加えられていない植生（原生林など） |
| 自然地 | 樹林地、草地、農地、池沼又はこれに類する状態にある土地 |
| 生活型 | バラ科、キク科などの系統とは関係なく、高木、低木などによる分類を示したもの |
| 生物多様性 | 様々な「自然」があり、そこに特有の「個性」を持つ生きものがいて、それぞれの命がつながりあっていること。 生物多様性条約では、生態系の多様性、種の多様性、遺伝子の多様性の 3 つのレベルの多様性があるとされる。 |
| 潜在自然植生 | 人間の影響を一切停止したとき、気候や立地条件からその立地に生じると判定される自然植生 |
| 代償植生 | 人間によって伐採や植林などの手が加えられ、立地本来の自然植生が様々な植生に置き換わった植生（二次林など） |
| トウヒ-コケモモ クラス域 | 常緑針葉樹林域は、広く分布する針葉樹と小型木本植物の名を組み合わせて、都ではトウヒ-コケモモクラス域と呼ぶ。東京都では海拔 1,800m 以上に広がる。 (出典) 自然環境保全基礎調査 H P http://www.vegetation.jp/zu/shokuseitai.html |

| | |
|-----------|--|
| 特定外来生物 | 外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの又は及ぼすおそれがあるものの中から外来生物法で指定された生物。植物については栽培、運搬、保管、野外に植えること等が規制されている。 |
| ブナクラス域 | 日本の落葉広葉樹林域は、群落体系上の最上級単位であるブナクラスの名をとり、ブナクラス域と呼ばれている。 (出典) 同上 |
| みどり率 | ある地域にどれだけ樹林地、草地、農地等が存在するかを示す割合を緑被率といい、緑被率に加え、河川や湖沼等の水面と、公園内で緑に覆われていない場所の面積を加えたもの |
| ヤブツバキクラス域 | 日本の常緑広葉樹林域は、体系上の最上級単位であるヤブツバキクラスの名をとつて、ヤブツバキクラス域と呼ばれている。ヤブツバキクラス域は関東以西の標高 700mから 800mまでで発達する。(出典) 同上 |
| 要注意外来生物 | 生態系に悪影響を及ぼし得ることから、適切な取扱いが必要な外来生物。ただし、特定外来生物とは異なり、外来生物法に基づく飼養等の規制は課されない。 |

**植栽時における在来種選定ガイドライン
～生物多様性に配慮した植栽を目指して～**

平成 26 年 5 月 発行

平成 26 年度
登録番号 34

発行 東京都環境局自然環境部

〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1

電話 03-5388-3548

R70

古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています